

## 市民アンケート調査結果

# 1. 調査概要

## (1) 調査の目的

市民のごみの分別や減量化、リサイクルに対する関心、また実際に取り組んでいることや地域における課題のほか、各施策の認知度についても調査を行い、現状の把握や市民のニーズ、行政への要望等を把握しました。

調査結果は、本市の一般廃棄物処理基本計画を策定するための基礎資料とします。

## (2) 調査対象、調査期間

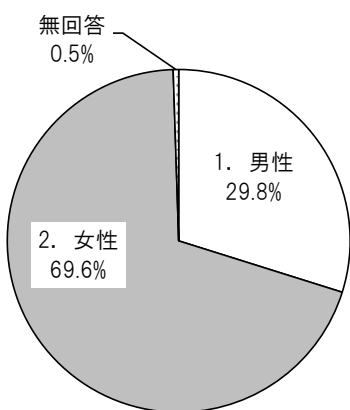
府中市内に在住する満20歳以上の市民2,000人(住民基本台帳より無作為抽出)を対象とし、郵送による送付、回収を行いました。調査票の発送後、お礼状兼督促ハガキを発送しました。

実施期間は以下のとおりです。

調査開始日 平成 28 年 9 月 9 日 (金)  
 回答締切日 9 月 28 日 (水)

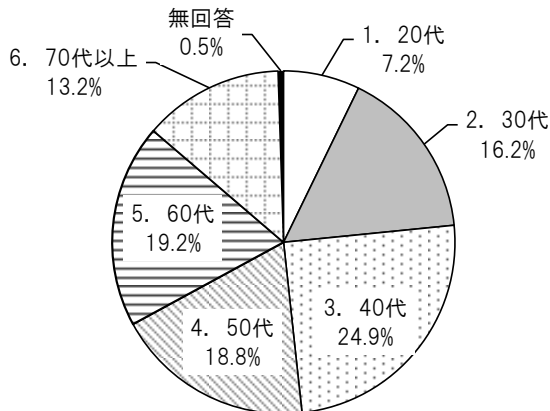
## (3) 回収結果 (回答数 1,166 件)

### ①性別



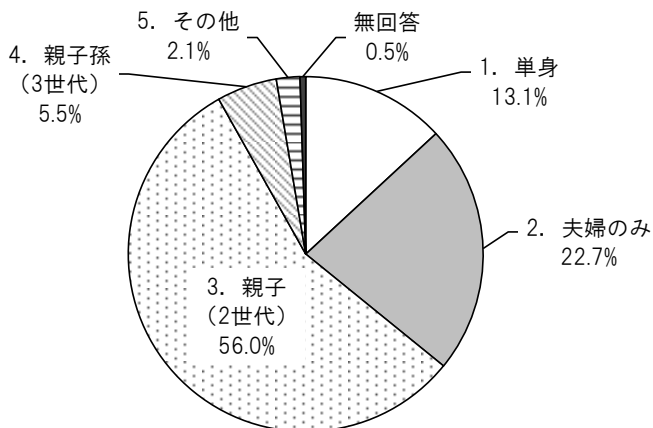
	回答数
1. 男性	348
2. 女性	812
無回答	6
合計	1,166

### ②年齢層



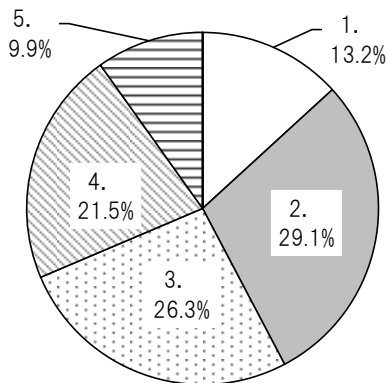
	回答数
1. 20代	84
2. 30代	189
3. 40代	290
4. 50代	219
5. 60代	224
6. 70代以上	154
無回答	6
合計	1,166

### ③世帯構成



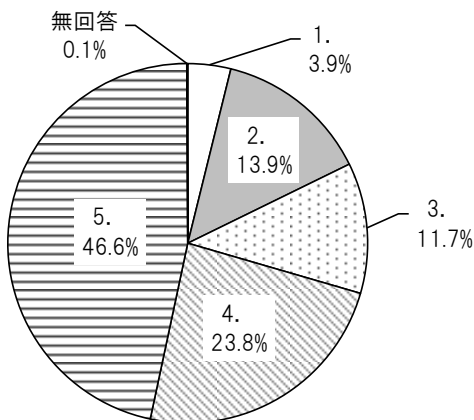
	回答数
1. 単身	153
2. 夫婦のみ	265
3. 親子(2世代)	653
4. 親子孫(3世代)	64
5. その他	25
無回答	6
合計	1,166

④世帯人数（回答者含む）



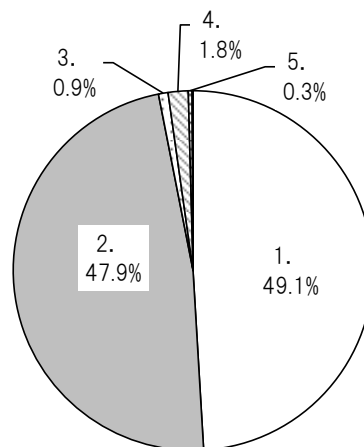
	回答数
1. 1人	154
2. 2人	339
3. 3人	307
4. 4人	251
5. 5人以上	115
無回答	0
合計	1,166

⑤居住年数



	回答数
1. 1年未満	45
2. 1年以上5年未満	162
3. 5年以上10年未満	137
4. 10年以上20年未満	278
5. 20年以上	543
無回答	1
合計	1,166

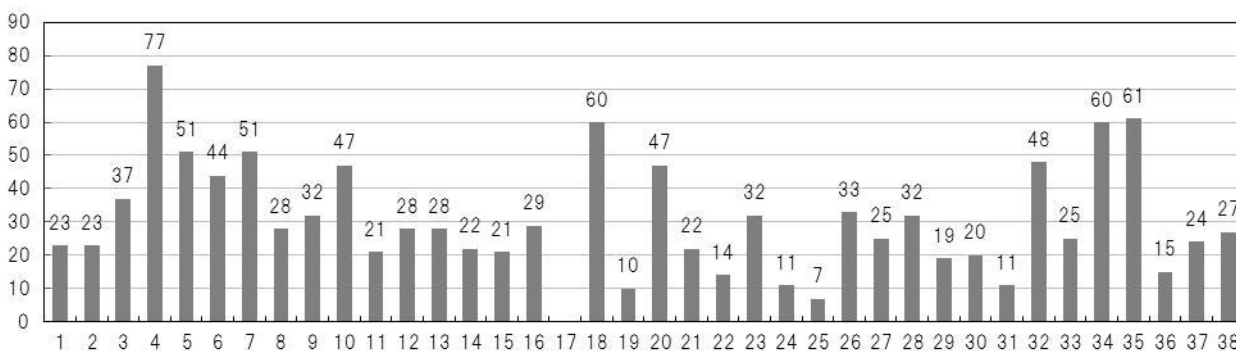
⑥居住形態



	回答数
1. マンション・アパート等の集合住宅	572
2. 戸建て住宅	558
3. 店舗・事務所付き住宅	10
4. 社員寮・学生寮・社宅	21
5. その他	4
無回答	1
合計	1,166

⑦居住地区

(件)

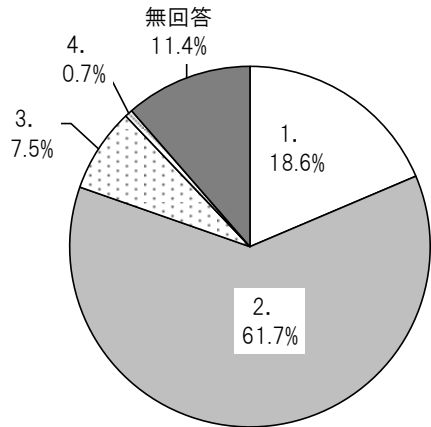


1. 多磨町	2. 朝日町	3. 紅葉丘	4. 白糸台	5. 押立町	6. 小柳町
7. 若松町	8. 浅間町	9. 天神町	10. 新町	11. 幸町	12. 府中町
13. 緑町	14. 宮町	15. 八幡町	16. 清水が丘	17. 日吉町	18. 是政
19. 矢崎町	20. 南町	21. 本町	22. 片町	23. 宮西町	24. 寿町
25. 日鋼町	26. 晴見町	27. 栄町	28. 武蔵台	29. 北山町	30. 西原町
31. 東芝町	32. 美好町	33. 分梅町	34. 住吉町	35. 四谷	36. 日新町
37. 本宿町	38. 西府町				

※無回答の1件を除く。

## 問1 あなたは、ごみの分別や3Rにどの程度関心がありますか。(〇は1つ)

「2. ある程度関心がある」が61.7%と最も高く、次いで「1. 非常に関心がある」18.6%となっています。「3. あまり関心がない」・「4. まったく関心がない」を合わせると8.2%となり、全体の10%未満となっています。

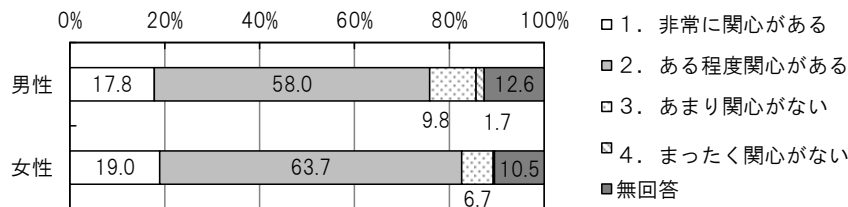


	回答数
1. 非常に関心がある	217
2. ある程度関心がある	720
3. あまり関心がない	88
4. まったく関心がない	8
無回答	133
合計	1,166

### 属性別の集計

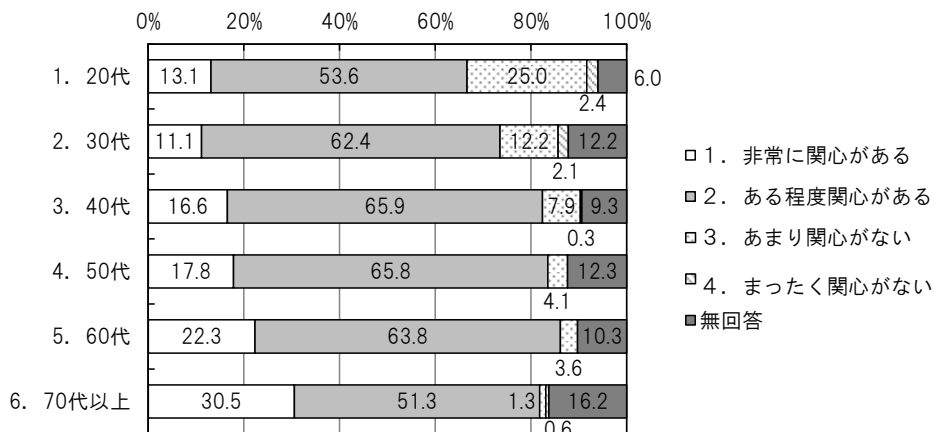
#### 【性別による違い】

性別では、「1. 非常に関心がある」・「2. ある程度関心がある」と回答した割合が女性のほうが80%を超えており、男性よりやや高くなっています。



#### 【年齢層による違い】

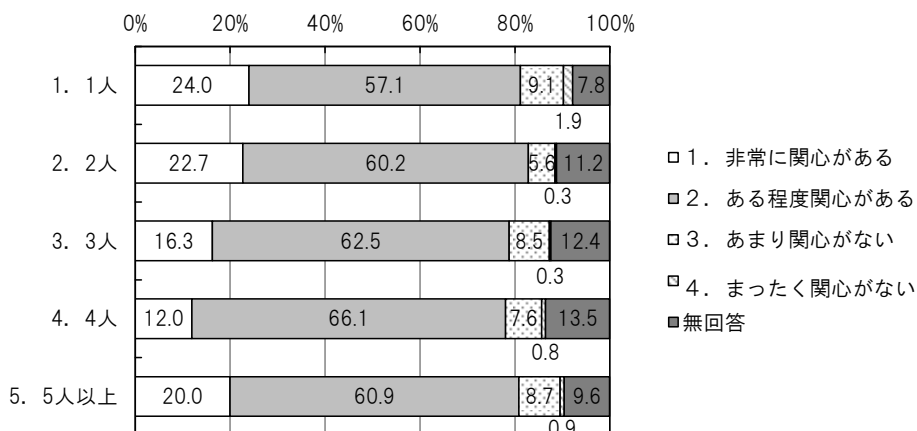
年齢層では、「1. 非常に関心がある」と回答した割合は年齢層が上がるとともに高くなる傾向がみられます。また、「1. 非常に関心がある」・「2. ある程度関心がある」を合わせた割合では、40代以上で80%を超えています。20代では「3. あまり関心がない」と回答した割合が他の年齢層より多くなっています。



## 属性別の集計

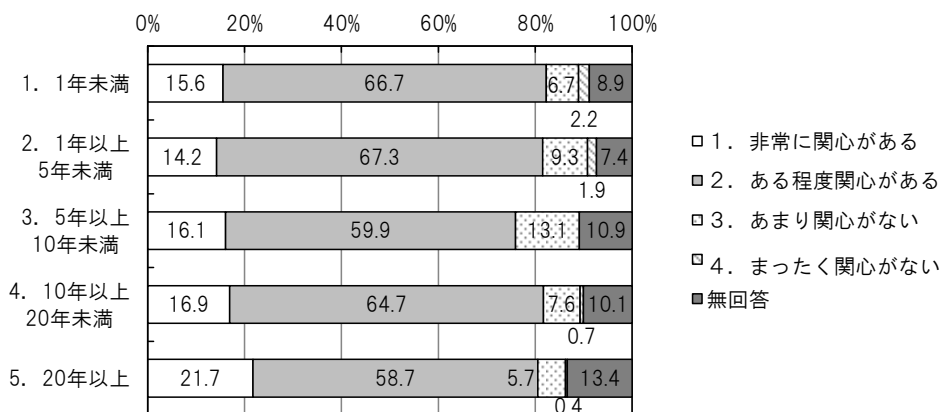
### 【世帯人数による違い】

世帯人数では、「1. 非常に興味がある」と回答した割合は、1人及び2人でやや高くなっています。「1. 非常に興味がある」・「2. ある程度関心がある」を合わせた割合では、大きな違いはみられません。



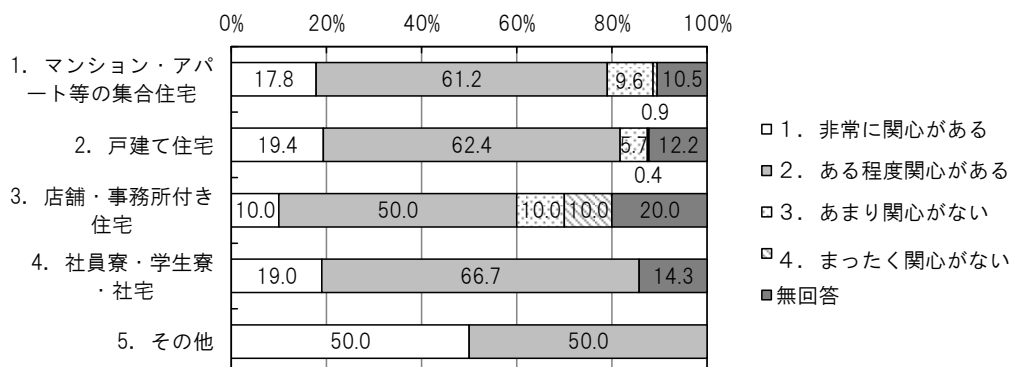
### 【居住年数による違い】

居住年数では、「1. 非常に興味がある」と回答した割合は、20年以上がやや高くなっています。「1. 非常に興味がある」・「2. ある程度関心がある」を合わせた割合では、5年以上10年未満以外で80%を超えています。



### 【居住形態による違い】

居住形態では、「1. 非常に興味がある」・「2. ある程度関心がある」それぞれの割合、両方を合わせた割合のいずれも、マンション・アパート等の集合住宅と戸建て住宅で大きな違いはありませんでした。店舗・事業所付き住宅は、回答者が少なかったものの、「3. あまり関心がない」、「4. 全く関心がない」との回答もみられました。

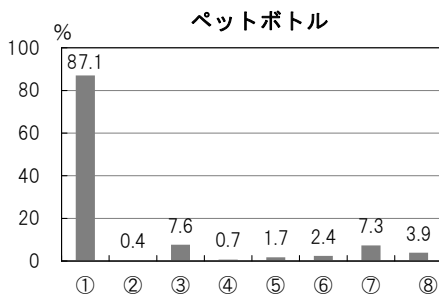
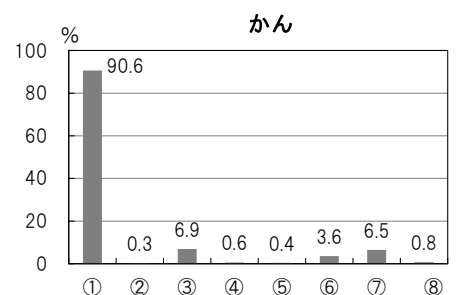
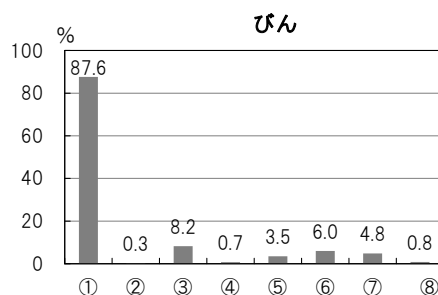
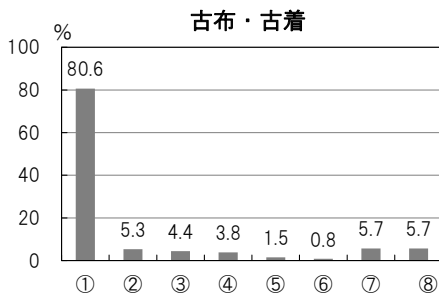
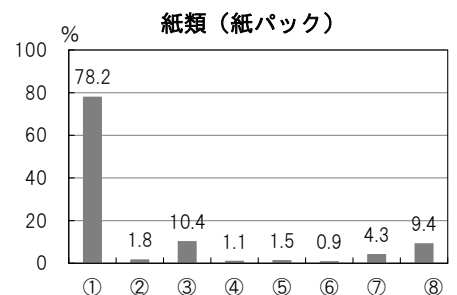
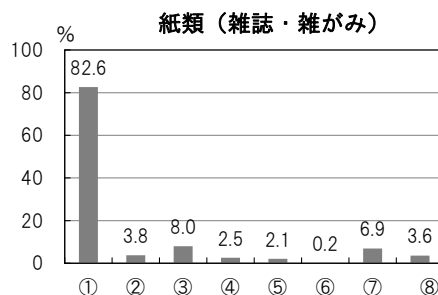
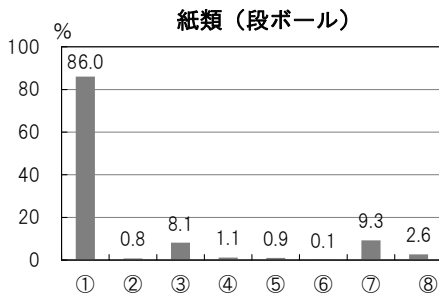
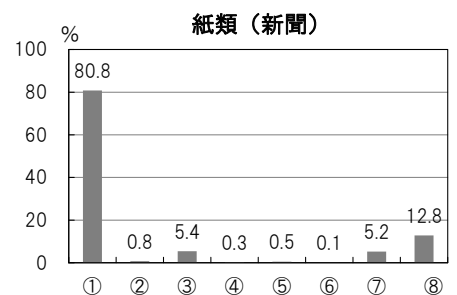
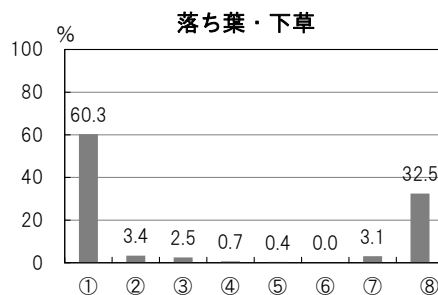
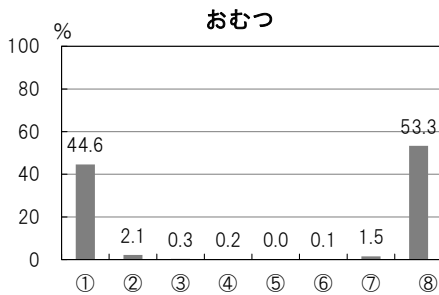
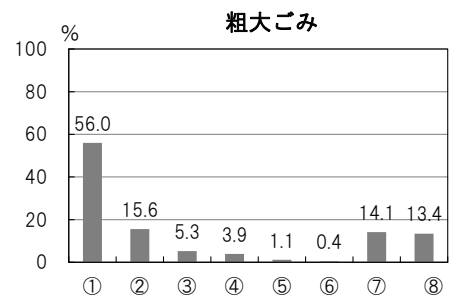
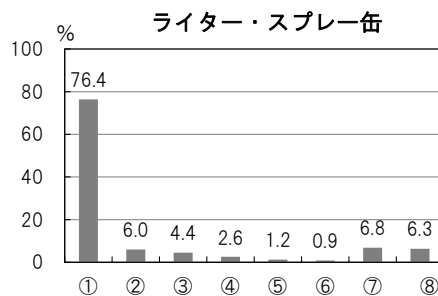
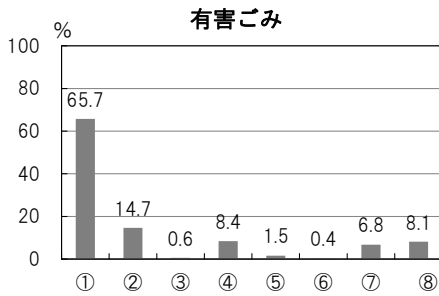
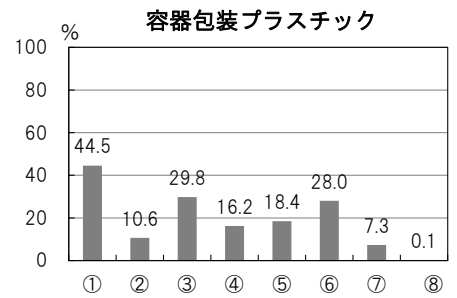
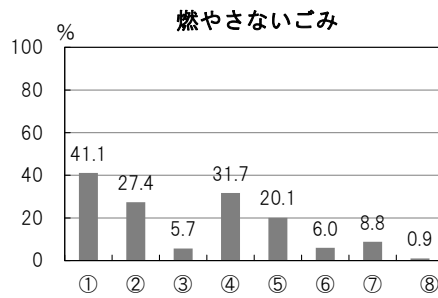
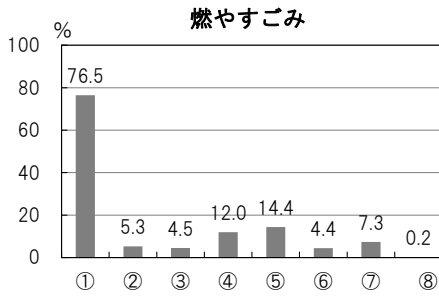


問2 以下の品目について、分別の際に困っていることはありますか。ある方は、その理由としてあてはまるものをそれぞれお答えください。（それぞれ〇は3つまで）

「燃やさないごみ」・「容器包装プラスチック」で「困ることなく分別できる」と回答した割合は40%台となっており、他の品目に比べ低くなっています。その理由として、「燃やさないごみ」は「素材が分からないものがある」・「どの分別区分に該当するか分からない」が多く、「容器包装プラスチック」では「手間である（洗う、束ねる等）」・「どこまで汚れを取ったら良いか分からない」が挙げられています。

	① 困ることなく分別できる	② どの分別区分に該当するか分からない	③ 手間である（洗う、束ねる等）	④ 素材が分からないものがある	⑤ 異なる素材がくっついていて分けられない	⑥ どこまで汚れを取ったら良いか分からない	⑦ 収集日までの保管場所がない	⑧ このごみは普段出さない／出したことがない	無回答
燃やすごみ	825	57	49	129	155	48	79	2	87
	76.5	5.3	4.5	12.0	14.4	4.4	7.3	0.2	8.1
燃やさないごみ	434	289	60	335	212	63	93	10	110
	41.1	27.4	5.7	31.7	20.1	6.0	8.8	0.9	10.4
容器包装プラスチック	483	115	323	176	200	304	79	1	81
	44.5	10.6	29.8	16.2	18.4	28.0	7.3	0.1	7.5
有害ごみ	681	152	6	87	16	4	70	84	130
	65.7	14.7	0.6	8.4	1.5	0.4	6.8	8.1	12.5
ライター・スプレー缶	808	63	47	27	13	9	72	67	108
	76.4	6.0	4.4	2.6	1.2	0.9	6.8	6.3	10.2
粗大ごみ	586	163	55	41	12	4	148	140	119
	56.0	15.6	5.3	3.9	1.1	0.4	14.1	13.4	11.4
おむつ	442	21	3	2	0	1	15	529	174
	44.6	2.1	0.3	0.2	0.0	0.1	1.5	53.3	17.5
落ち葉・下草	630	35	26	7	4	0	32	339	122
	60.3	3.4	2.5	0.7	0.4	0.0	3.1	32.5	11.7
紙類（新聞）	853	8	57	3	5	1	55	135	110
	80.8	0.8	5.4	0.3	0.5	0.1	5.2	12.8	10.4
紙類（段ボール）	910	8	86	12	10	1	98	28	108
	86.0	0.8	8.1	1.1	0.9	0.1	9.3	2.6	10.2
紙類（雑誌・雑がみ）	878	40	85	27	22	2	73	38	103
	82.6	3.8	8.0	2.5	2.1	0.2	6.9	3.6	9.7
紙類（紙パック）	823	19	109	12	16	10	45	99	113
	78.2	1.8	10.4	1.1	1.5	0.9	4.3	9.4	10.7
古布・古着	854	56	47	40	16	9	60	60	107
	80.6	5.3	4.4	3.8	1.5	0.8	5.7	5.7	10.1
びん	935	3	88	8	37	64	51	9	99
	87.6	0.3	8.2	0.7	3.5	6.0	4.8	0.8	9.3
かん	964	3	73	6	4	38	69	8	102
	90.6	0.3	6.9	0.6	0.4	3.6	6.5	0.8	9.6
ペットボトル	922	4	81	7	18	25	77	41	107
	87.1	0.4	7.6	0.7	1.7	2.4	7.3	3.9	10.1

※上段：回答件数、下段：割合（無回答を除く回答者数で算出）



- ① 困ることなく分別できる
- ② どの分別区分に該当するか分からない
- ③ 手間である（洗う、束ねる等）
- ④ 素材が分からないものがある
- ⑤ 異なる素材がくっついていて分けられない
- ⑥ どこまで汚れを取ったら良いか分からない
- ⑦ 収集日までの保管場所がない
- ⑧ このごみは普段出さない/出したことがない

問3 ごみの分別や3R について、現在どのようなことにどの程度取り組んでいますか。  
(それぞれ〇は1つ)

「①いつもしている」という回答が最も多かったのは、「1. ごみの分別をきちんとしている」が62.7%で「②ほとんどしている」とあわせると90%以上となっています。ついで「2. 生ごみを出すときは水気を切るよう努めている」が50.4%となっています。

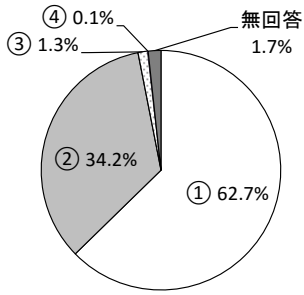
「④ほとんどしていない」・「⑤まったくしていない」という回答が多かった項目は、「14. 親子3R教室や環境講座へ積極的に参加している」が92.6%、「3. 生ごみ処理機などを使用し、減量・堆肥化している」が82.3%でした。また、「9. 小型家電の宅配回収を活用している」も70.4%、「10. 不用品はフリーマーケットやリユースショップへ出すなど、リユース(再使用)に努めている」も56.5%とこれらの項目についても取り組んでいる割合は低くなっています。

	① いつも している	② ほとん どして いる	③ 時々 してい る	④ ほとん どして いない	⑤ まっ たくし ていな い	⑥ 無回 答
1. ごみの分別をきちんとしている	731 62.7	399 34.2	15 1.3	1 0.1	0 0.0	20 1.7
2. 生ごみを出すときは水気を切るよう努めている	588 50.4	430 36.9	80 6.9	38 3.3	7 0.6	23 2.0
3. 生ごみ処理機などを使用し、減量・堆肥化している	89 7.6	33 2.8	41 3.5	87 7.5	872 74.8	44 3.8
4. マイ箸やマイボトルを使っている	276 23.7	272 23.3	329 28.2	108 9.3	143 12.3	38 3.3
5. 食材を買いすぎないようにしている	312 26.8	456 39.1	273 23.4	81 6.9	18 1.5	26 2.2
6. マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない	395 33.9	347 29.8	256 22.0	81 6.9	68 5.8	19 1.6
7. 使い捨てでなく、長期間使うことのできる商品を選んでいる	223 19.1	382 32.8	405 34.7	87 7.5	28 2.4	41 3.5
8. 詰め替えタイプや繰り返し使用できる商品を選んでいる	500 42.9	457 39.2	168 14.4	11 0.9	7 0.6	23 2.0
9. 小型家電の宅配回収を活用している	81 6.9	56 4.8	158 13.6	195 16.7	626 53.7	50 4.3
10. 不用品はフリーマーケットやリユースショップへ出すなど、リユース(再使用)に努めている	62 5.3	97 8.3	322 27.6	275 23.6	384 32.9	26 2.2
11. 簡易包装など、ごみ減量・資源化に取り組んでいる店舗から買い物をするように努めている	97 8.3	136 11.7	367 31.5	302 25.9	234 20.1	30 2.6
12. 食品トレイや牛乳パック、ペットボトルなどの資源品は、できるだけ販売店へ返却している	311 26.7	171 14.7	179 15.4	194 16.6	286 24.5	25 2.1
13. 地域のごみ減量・資源化の取組みに積極的に参加している	124 10.6	151 13.0	282 24.2	282 24.2	295 25.3	32 2.7
14. 親子3R教室や環境講座へ積極的に参加している	6 0.5	5 0.4	39 3.3	153 13.1	927 79.5	36 3.1
15. その他	9 0.8	5 0.4	4 0.3	1 0.1	38 3.3	1109 95.1

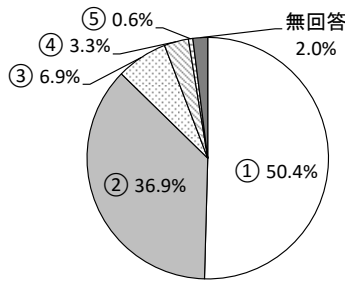
※上段：回答件数、下段：割合



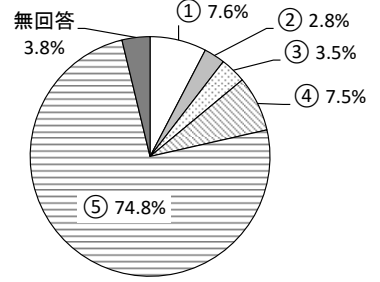
1. ごみの分別をきちんとしている



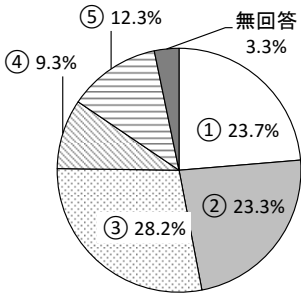
2. 生ごみを出すときは水気を切るよう努めている



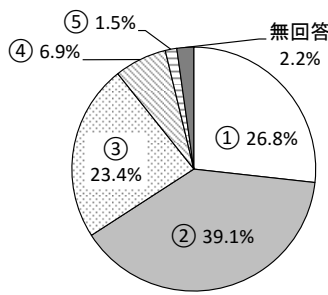
3. 生ごみ処理機などを使用し、減量・堆肥化している



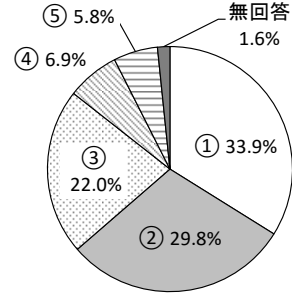
4. マイ箸やマイボトルを使っている



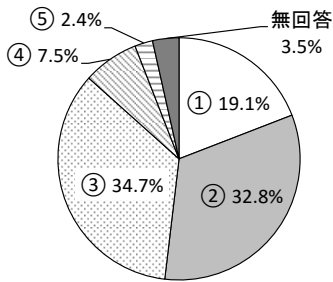
5. 食材を買いすぎないようにしている



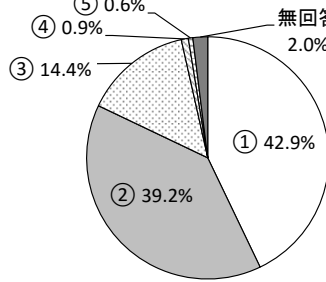
6. マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない



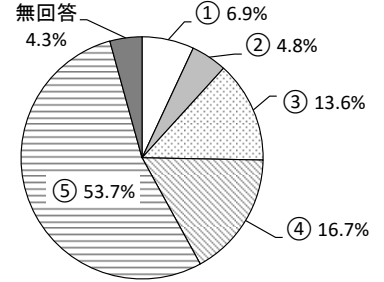
7. 使い捨てでなく、長期間使うことのできる商品を選んでいる



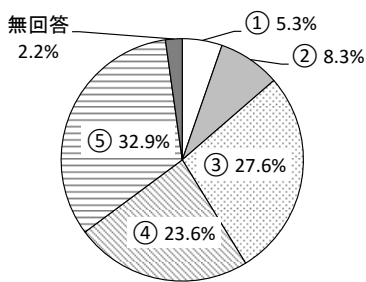
8. 詰め替えタイプや繰り返し使用できる商品を選んでいる



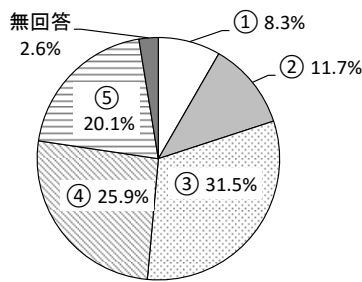
9. 小型家電の宅配回収を活用している



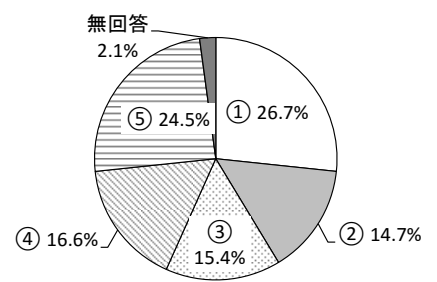
10. 不用品はフリーマーケットやリユースショップへ出すなど、リユース(再利用)に努めている



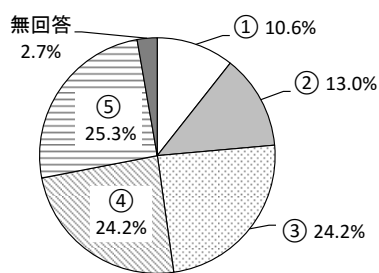
11. 簡易包装など、ごみ減量・資源化に取り組んでいる店舗から買い物をするように努めている



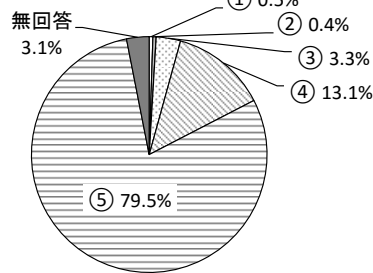
12. 食品トレイや牛乳パック、ペットボトルなどの資源品は、できるだけ販売店へ返却している



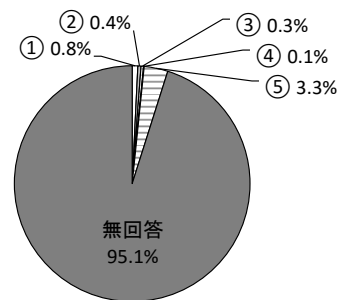
13. 地域のごみ減量・資源化の取組みに積極的に参加している



14. 親子3R教室や環境講座へ積極的に参加している



15. その他

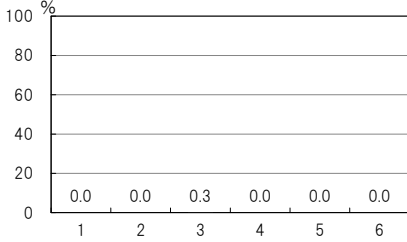


## 属性別の集計

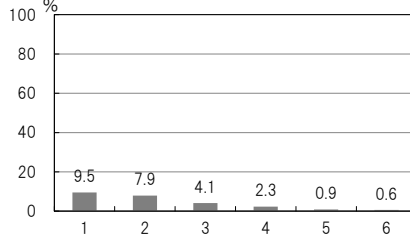
【各取組で「④ほとんどしていない」、「⑤まったくしていない」と回答した人の年齢層による違い】

年齢層では、「11. 簡易包装など、ごみ減量・資源化に取り組んでいる店舗から買い物をするように努めている」、「13. 地域のごみ減量・資源化の取組みに積極的に参加している」をはじめ、全般的に、年齢層が低いほど「④ほとんどしていない」・「⑤まったくしていない」と回答した割合が高い傾向が顕著にみられます。

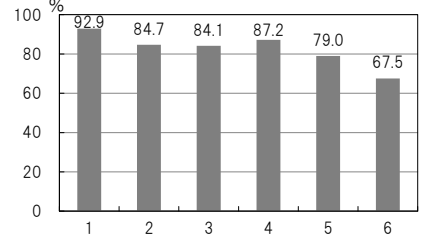
1. ごみの分別をきちんとしている



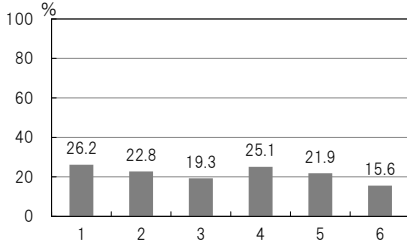
2. 生ごみを出すときは水気を切るよう努めている



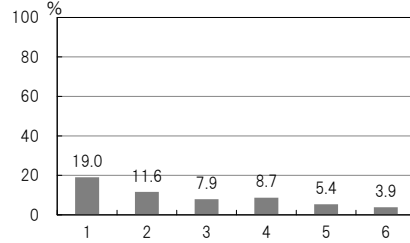
3. 生ごみ処理機などを使用し、減量・堆肥化している



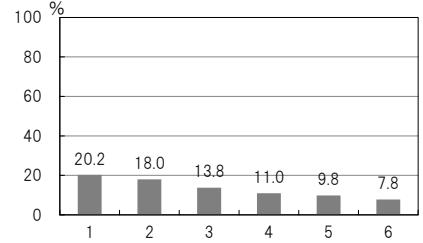
4. マイ箸やマイボトルを使っている



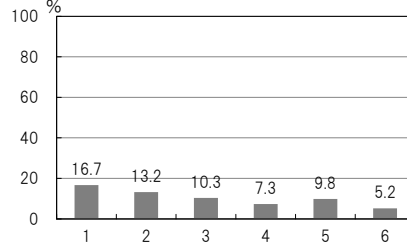
5. 食材を買いすぎないようにしている



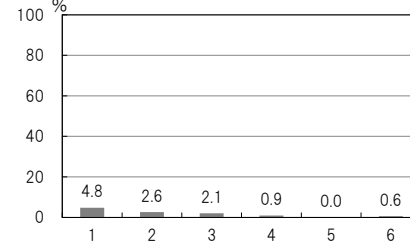
6. マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない



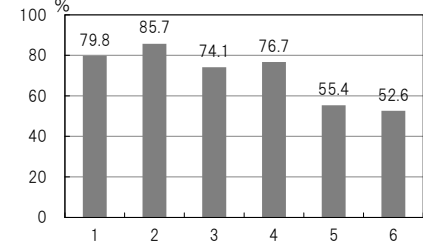
7. 使い捨てでなく、長期間使うことのできる商品を選んで



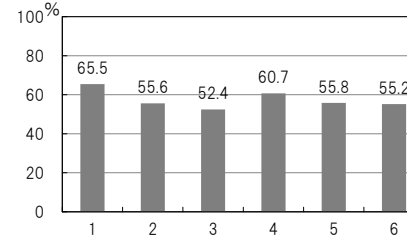
8. 詰め替えタイプや繰り返し使用できる商品を選んで



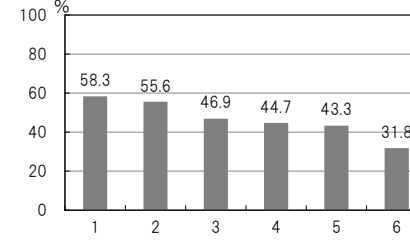
9. 小型家電の宅配回収を活用している



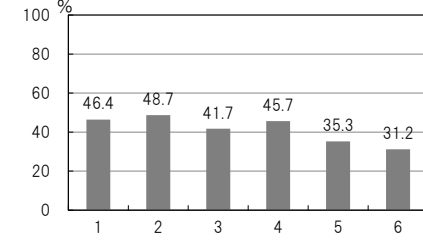
10. 不用品はフリーマーケットやリユースショップへ出すなど、リユース（再使用）に努めている



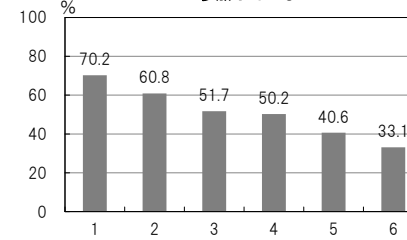
11. 簡易包装など、ごみ減量・資源化に取り組んでいる店舗から買い物をするように努めている



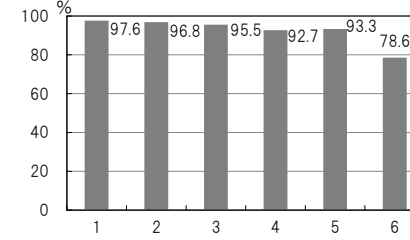
12. 食品トレイや牛乳パック、ペットボトルなどの資源品は、できるだけ販売店へ返却している



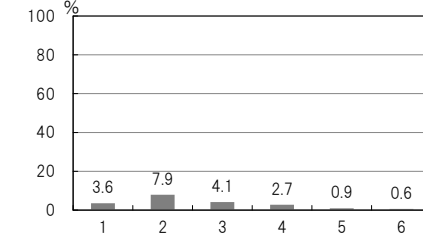
13. 地域のごみ減量・資源化の取組みに積極的に参加している



14. 親子3R教室や環境講座へ積極的に参加している



15. その他

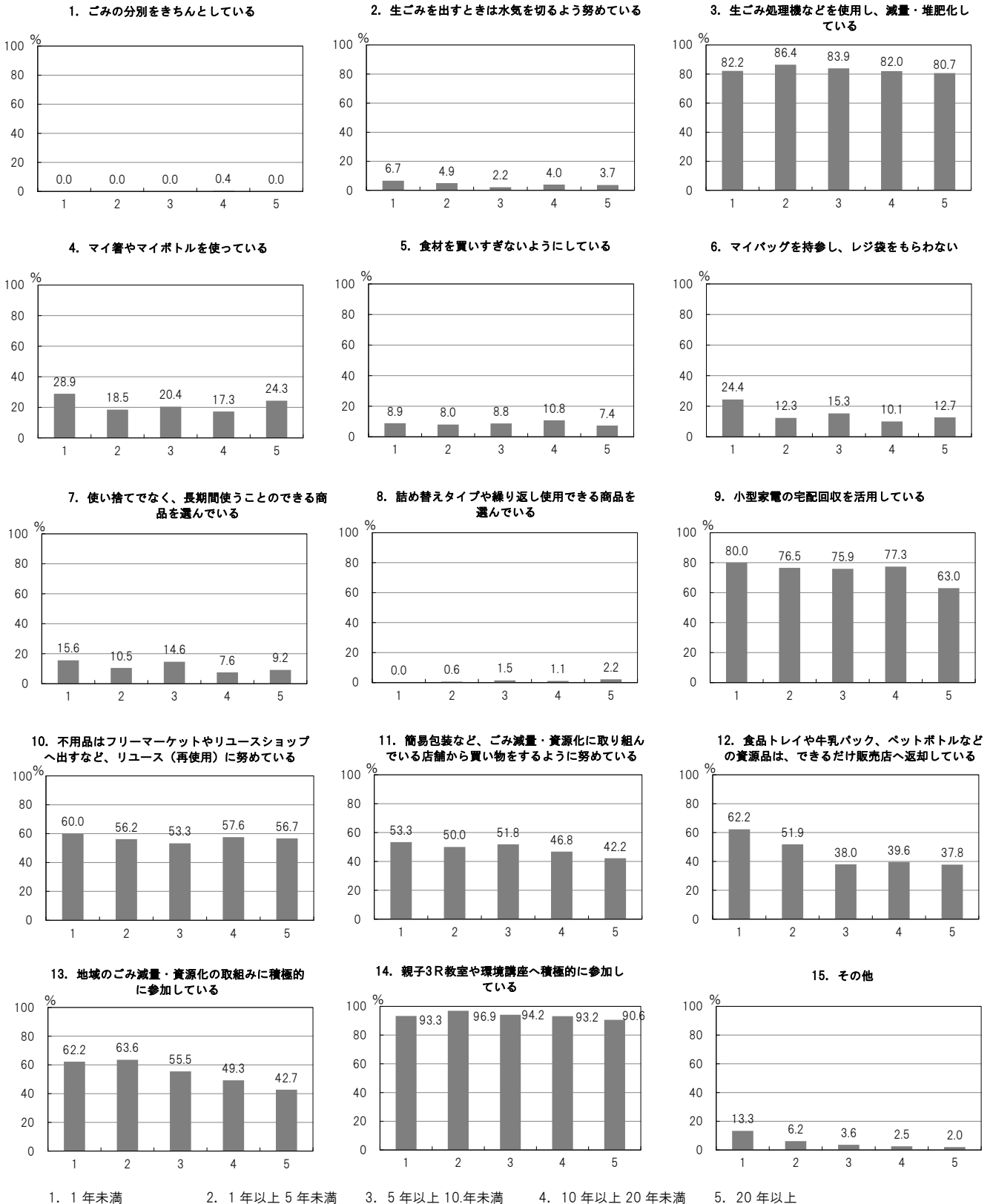


1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代以上

## 属性別の集計

【各取組で「④ほとんどしていない」、「⑤まったくしていない」と回答した人の居住年数による違い】

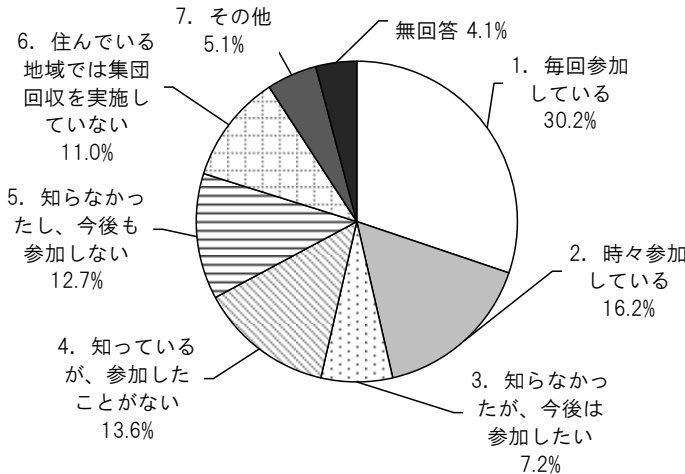
居住年数では、「12. 食品トレイや牛乳パック、ペットボトルなどの資源品は、できるだけ販売店へ返却している」、「13. 地域のごみ減量・資源化の取組みに積極的に参加している」の項目で、居住年数が短いほど「④ほとんどしていない」・「⑤まったくしていない」と回答した割合が高い傾向が顕著にみられます。



1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上

## 問4-1 地域で行われている古紙などの資源物回収事業(集団回収)に参加していますか。 (〇は1つ)

「毎回参加している」という回答が30.2%と最も多く、ついで「時々参加している」が16.2%となっています。この2つをあわせると「参加している」と回答した割合は46.4%で、50%を下回っています。

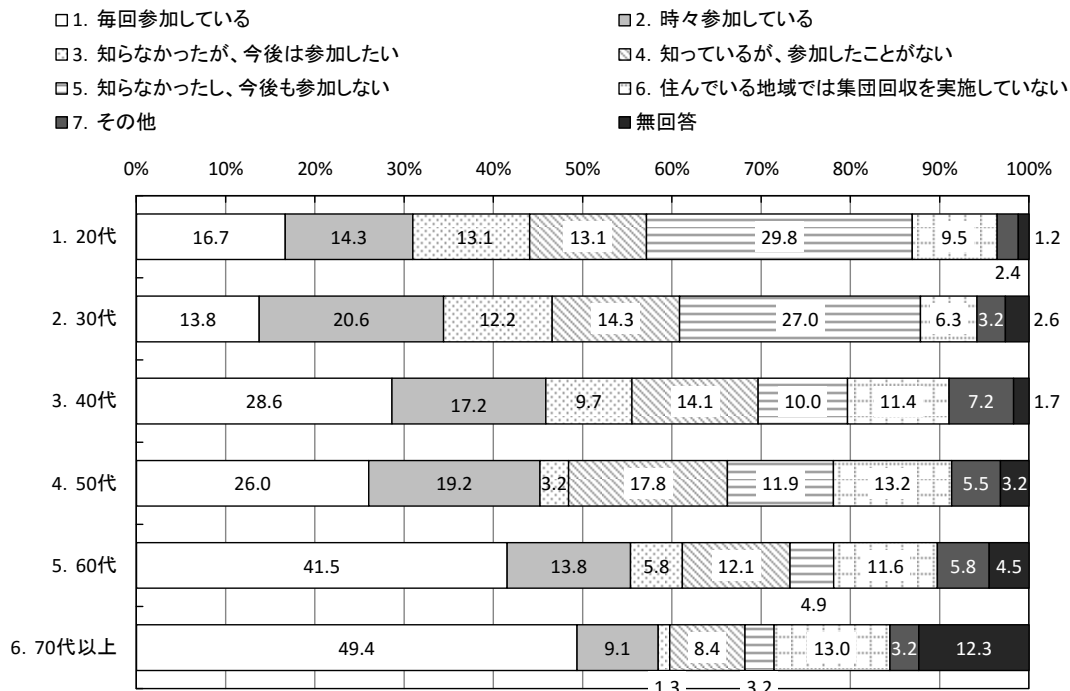


	回答数	%
1. 毎回参加している	352	30.2
2. 時々参加している	189	16.2
3. 知らなかったが、今後は参加したい	84	7.2
4. 知っているが、参加したことがない	158	13.6
5. 知らなかったし、今後も参加しない	148	12.7
6. 住んでいる地域では集団回収を実施していない	128	11.0
7. その他	59	5.1
無回答	48	4.1
合計	1,166	100.0

### 属性別の集計

#### 【年齢層による違い】

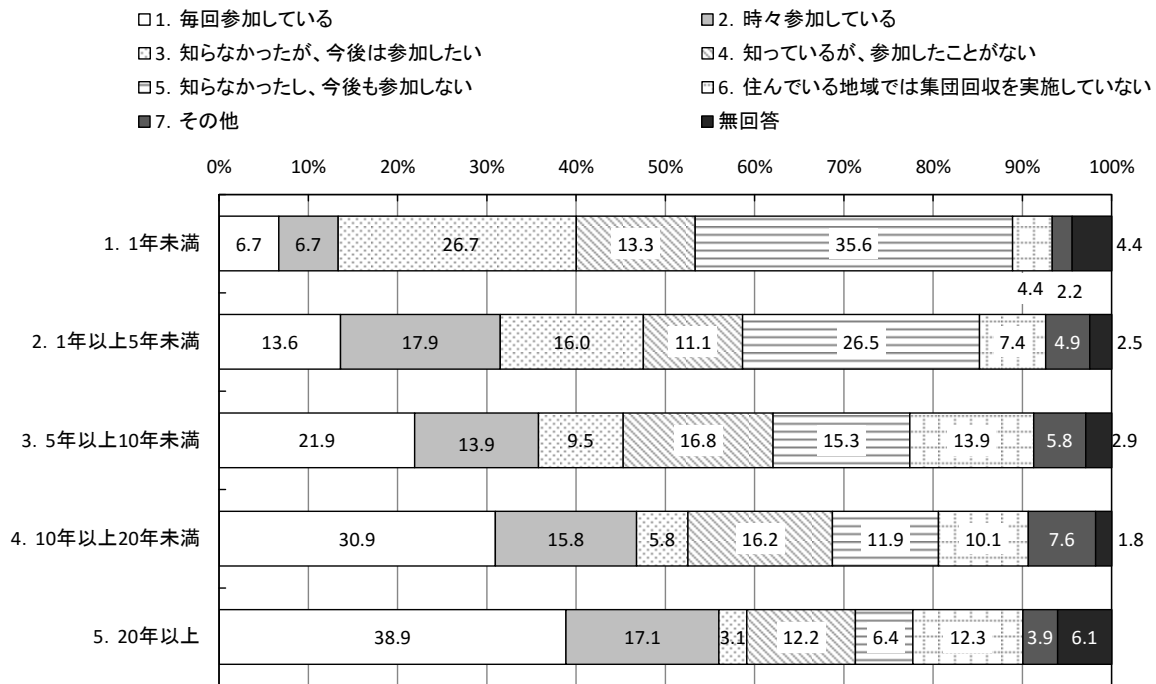
年齢層では、「毎回参加している」・「時々参加している」と回答した割合は、年齢層が高いほど高い傾向がみられます。「知らなかったが、今後は参加したい」・「知らなかったし、今後も参加しない」と「知らなかった」と回答した割合も若年層ほど高く、認知度が低い状況です。



## 属性別の集計

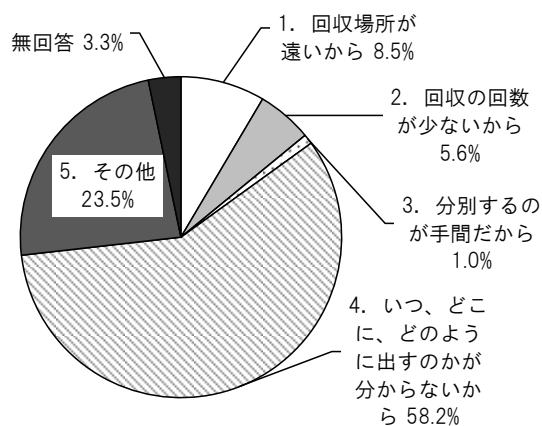
### 【居住年数による違い】

居住年数では、「1. 毎回参加している」・「2. 時々参加している」と回答した割合は、居住年数が長いほど高くなっています。「3. 知らなかったが、今後は参加したい」・「5. 知らなかったし、今後も参加しない」と「知らなかった」と回答した割合も居住年数が短いほど高くなっています。



### 問4-2 問4-1で4、5に○をつけた方にお聞きします。その理由は、次のどれですか。(○は1つ)

「参加したことがない」・「知らなかったし、今後も参加しない」理由として、「いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから」が最も多く 58.2%となっています。その他としては、「現状府中市の定期的回収で間に合っているから」、「マンションで一括して行っているから」、「時間がとれない」といった意見がみられました。



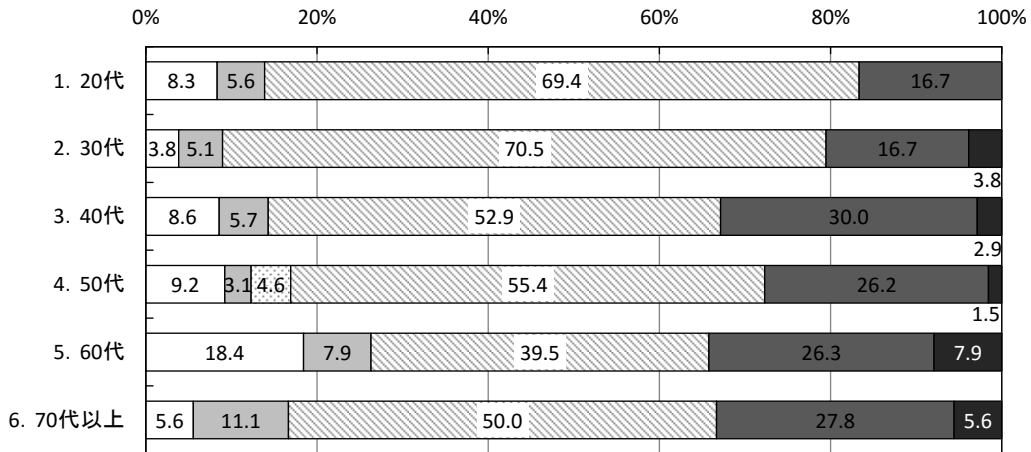
	回答数	%
1. 回収場所が遠いから	26	8.5
2. 回収の回数が少ないから	17	5.6
3. 分別するのが手間だから	3	1.0
4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから	178	58.2
5. その他	72	23.5
無回答	10	3.3
合計	306	100.0

## 属性別の集計

### 【年齢層による違い】

年齢層では、「4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから」と回答した割合は、若年層ほど高い傾向がみられます。「1. 回収場所が遠いから」と回答した割合は60代で、「2. 回収の回数が少ないから」と回答した割合は70代以上で高くなっています。

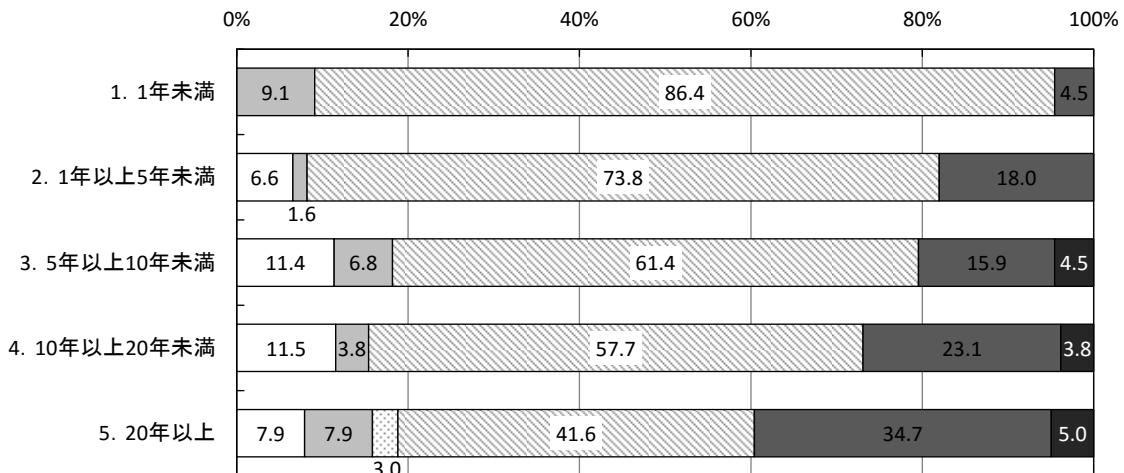
- 1. 回収場所が遠いから
- 2. 回収の回数が少ないから
- 3. 分別するのが手間だから
- 4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから
- 5. その他
- 無回答



### 【居住年数による違い】

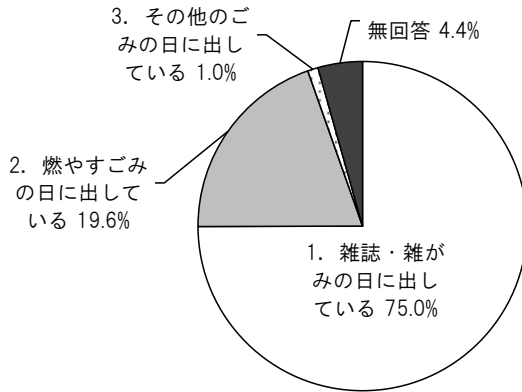
居住年数では、「4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから」と回答した割合は、年数が短いほど高くなっています。居住年数が長くなるにつれて、その他の意見が多くなるなど回答が分かれており、参加しない理由も多様化しています。

- 1. 回収場所が遠いから
- 2. 回収の回数が少ないから
- 3. 分別するのが手間だから
- 4. いつ、どこに、どのように出すのかが分からないから
- 5. その他
- 無回答



## 問5-1 はがきやトイレットペーパーの芯、封筒、メモ用紙などの雑がみは、どのように出していますか。(〇は1つ)

「1. 雑誌・雑がみの日に出している」という回答が75.0%と最も多く、ついで「2. 燃やすごみの日に出している」が19.6%となっています。約25%が資源として出していないと考えられます。

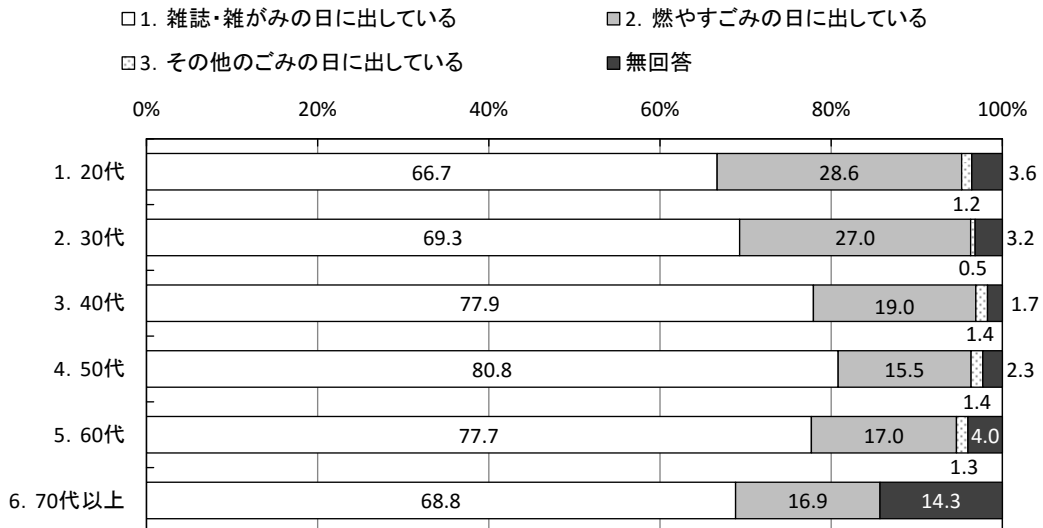


	回答数	%
1. 雑誌・雑がみの日に出している	874	75.0
2. 燃やすごみの日に出している	229	19.6
3. 其他のごみの日に出している	12	1.0
無回答	51	4.4
合計	1,166	100.0

### 属性別の集計

#### 【年齢層による違い】

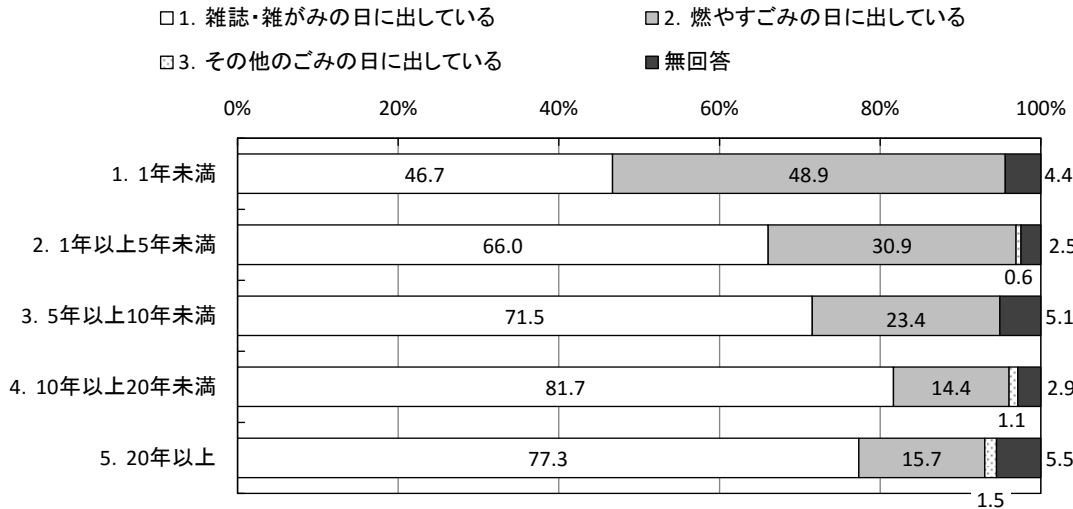
年齢層では、「2. 燃やすごみの日に出している」と回答した割合が、20代、30代の若年層ほど高くなっています。



## 属性別の集計

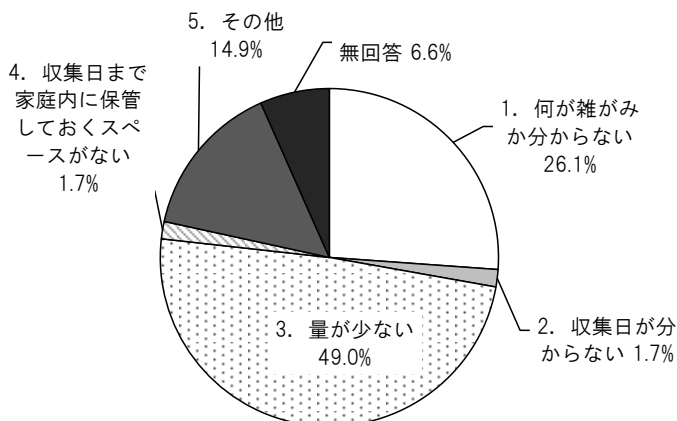
### 【居住年数による違い】

居住年数では、「1. 雑誌・雑がみの日に出している」と回答した割合は、年数が短いほど高く、「2. 燃やすごみの日に出している」と回答した割合は、年数が短いほど高い傾向がみられます。



### 問5-2 問5-1で2、3に○をつけた方にお聞きします。その理由は、次のどれですか。(○は1つ)

「量が少ない」という回答が49.0%と最も多く、ついで「何が雑がみか分からない」が26.1%となっています。その他としては、「個人情報に記載されているから」という意見が多くを占め、「いちいち分けて捨てるのが、めんどくさい」、「雑がみは燃やすごみでないことを知らなかった」といった意見もみられました。



	回答数	%
1. 何が雑がみか分からない	63	26.1
2. 収集日が分からない	4	1.7
3. 量が少ない	118	49.0
4. 収集日まで家庭内に保管しておくスペースがない	4	1.7
5. その他	36	14.9
無回答	16	6.6
合計	241	100.0

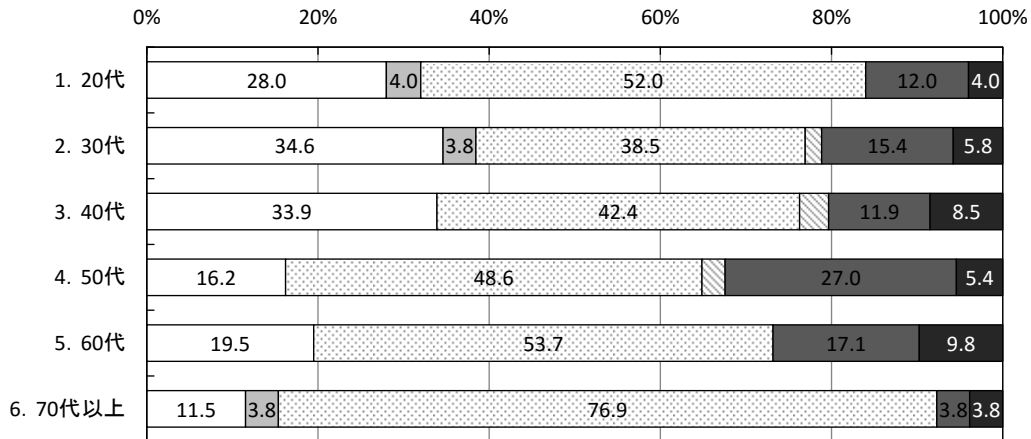


## 属性別の集計

### 【年齢層による違い】

年齢層では、「1. 何が雑がみか分からない」・「2. 収集日が分からない」と回答した割合は、20代～40代の若年層で高くなっています。

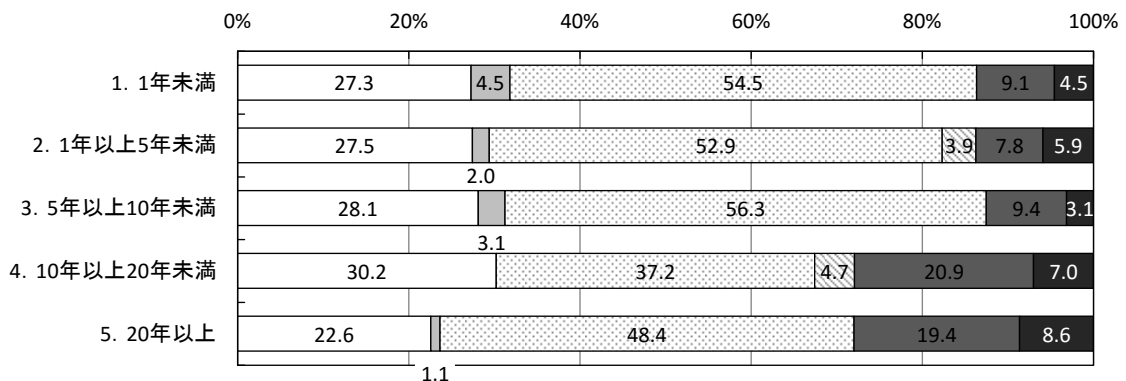
- 1. 何が雑がみか分からない
- 2. 収集日が分からない
- 3. 量が少ない
- 4. 収集日まで家庭内に保管しておくスペースがない
- 5. その他
- 無回答



### 【居住年数による違い】

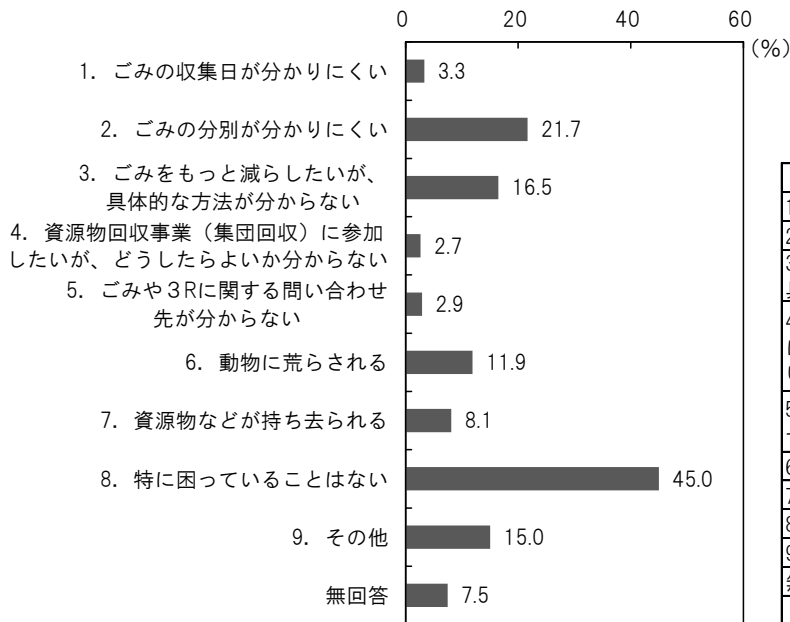
居住年数では、「何が雑がみか分からない」と回答した割合が、20年以上で低くなっており、「量が少ない」と回答した割合は、10年未満で50%以上を占めています。居住年数が長くなるにつれて、その他の意見が多くなるなど回答が分かれており、理由も多様化しています。

- 1. 何が雑がみか分からない
- 2. 収集日が分からない
- 3. 量が少ない
- 4. 収集日まで家庭内に保管しておくスペースがない
- 5. その他
- 無回答



## 問6 ごみの減量や分別排出に関して、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「8. 特に困っていることはない」という回答が45.0%と最も多く、ついで「2. ごみの分別が分かりにくい」が21.7%となっています。その他としては、「収集日が少ない(かん、びん、ペットボトル、プラスチック類)」、「集合住宅のごみ回収場所に分別していないごみを捨てて行く人がいる」等の意見がみられました。

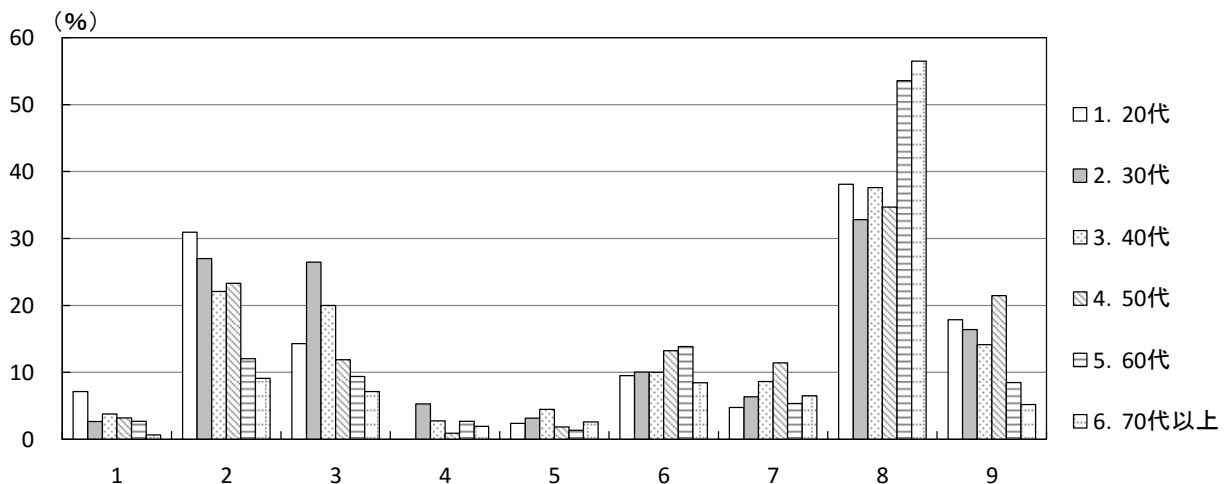


	回答数	%
1. ごみの収集日が分かりにくい	36	3.3
2. ごみの分別が分かりにくい	235	21.7
3. ごみをもっと減らしたいが、具体的な方法が分からない	179	16.5
4. 資源物回収事業(集団回収)に参加したいが、どうしたらよいか分からない	29	2.7
5. ごみや3Rに関する問い合わせ先が分からない	32	2.9
6. 動物に荒らされる	129	11.9
7. 資源物などが持ち去られる	88	8.1
8. 特に困っていることはない	488	45.0
9. その他	163	15.0
無回答	81	7.5
合計	1,085	—

### 属性別の集計

#### 【年齢層による違い】

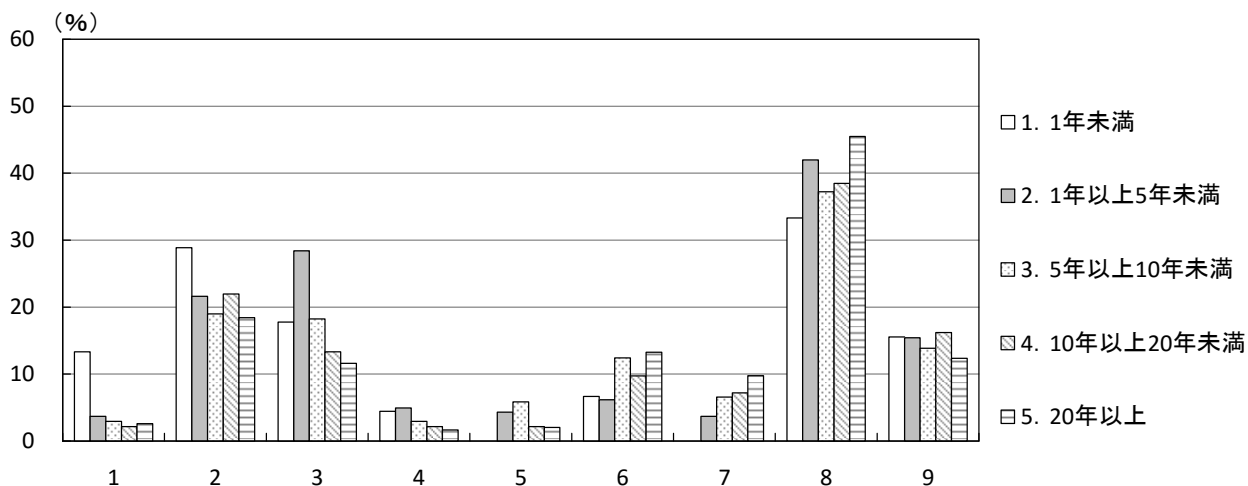
年齢層では、「2. ごみの分別が分かりにくい」・「3. ごみをもっと減らしたいが、具体的な方法が分からない」と回答した割合は、若年層ほど高い傾向がみられます。「8. 特に困っていることはない」と回答した割合は、60代、70代以上で高くなっています。



## 属性別の集計

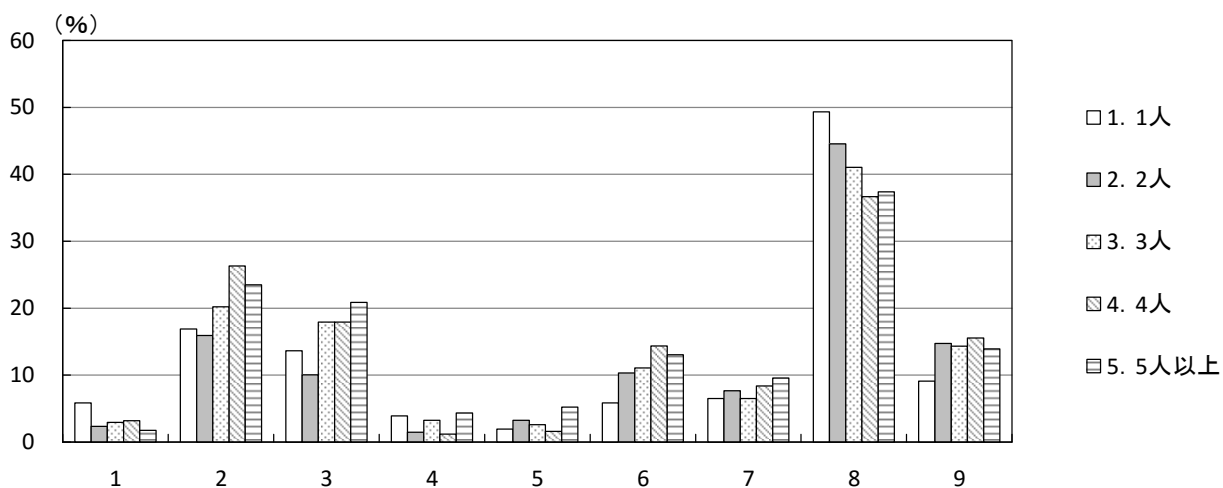
### 【居住年数による違い】

居住年数では、「1. ごみの収集日が分かりにくい」・「2. ごみの分別が分かりにくい」と回答した割合は1年未満が、「3. ごみをもっと減らしたいが、具体的な方法が分からない」と回答した割合は、1年以上5年未満が高くなっています。



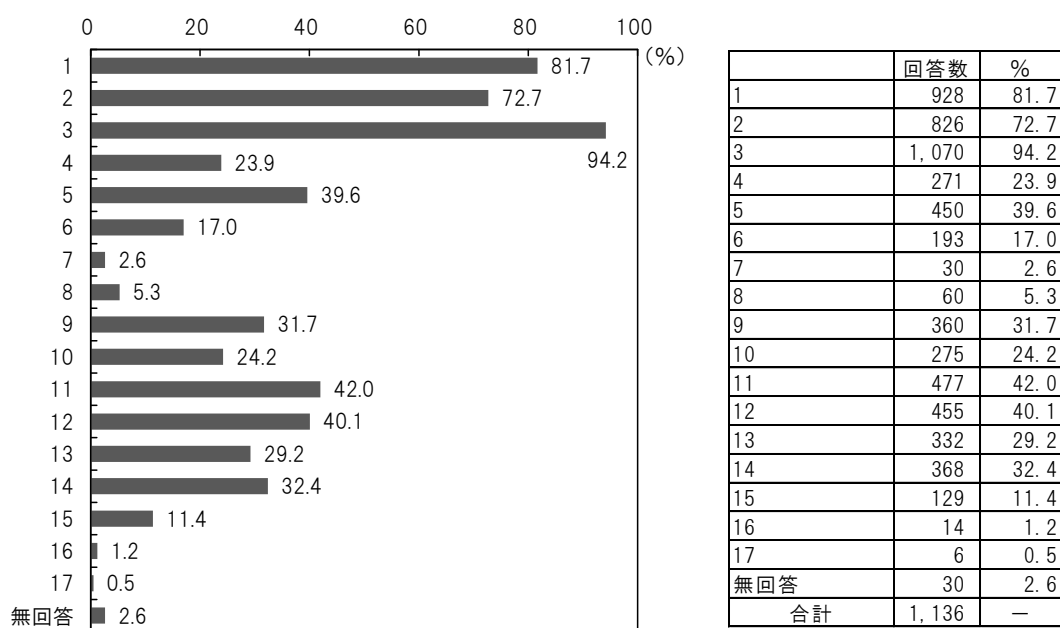
### 【世帯人数による違い】

世帯人数では、「8. 特に困っていることはない」と回答した割合は、世帯人数が少ないほど高くなっています。「2. ごみの分別が分かりにくい」・「3. ごみをもっと減らしたいが、具体的な方法が分からない」と回答した割合は、世帯人数が多いほどは高い傾向がみられます。



問 7 市が行っている以下の施策について、知っているものをすべてお選びください。  
(〇はいくつでも)

「3. ごみ・資源物の出し方カレンダーの発行」という回答が 94.2%と最も多く、ついで「1. 広報紙「広報ふちゅう」でのお知らせ」が 81.7%、「2. ごみの情報誌「府中のごみ」の発行」が 72.7%となっています。「16. 知っているものはない」という回答は 1.2%と少ないものの、多くの施策はいずれも 50%以下で、「7. 親子 3R教室の実施」、「8. ごみ減量・3R 推進大会の実施」が特に知られていない施策となっています。

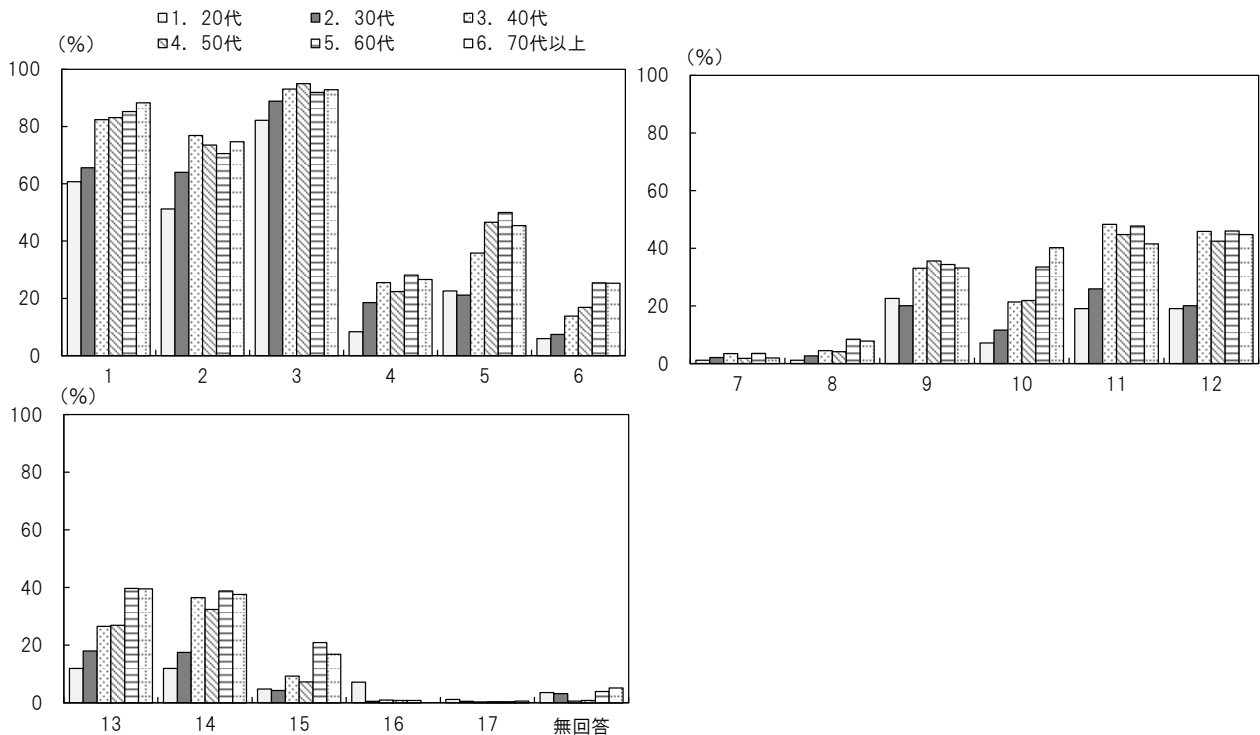


- |                               |                          |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 広報紙「広報ふちゅう」でのお知らせ          | 2. ごみの情報誌「府中のごみ」の発行      |
| 3. ごみ・資源物の出し方カレンダーの発行         | 4. 生ごみ処理機器等の購入費補助        |
| 5. 資源物回収事業（集団回収）の実施           | 6. ごみ処理施設見学会の実施          |
| 7. 親子 3R教室の実施                 | 8. ごみ減量・3R 推進大会の実施       |
| 9. 府中リサイクルフェスタや府中環境まつりの実施     | 10. 再生可能な自転車の修理・販売       |
| 11. 生活用品活用事業（リサちゃんショップけやき）    |                          |
| 12. 再生可能な家具等の販売（リサちゃんショップけやき） |                          |
| 13. 再生家具即売会（府中市リサイクルプラザ）      | 14. 家庭用廃食油の回収（サンデーリサイクル） |
| 15. 小型家電宅配回収（国の認定事業者との連携事業）   | 16. 知っているものはない           |
| 17. その他                       |                          |

## 属性別の集計

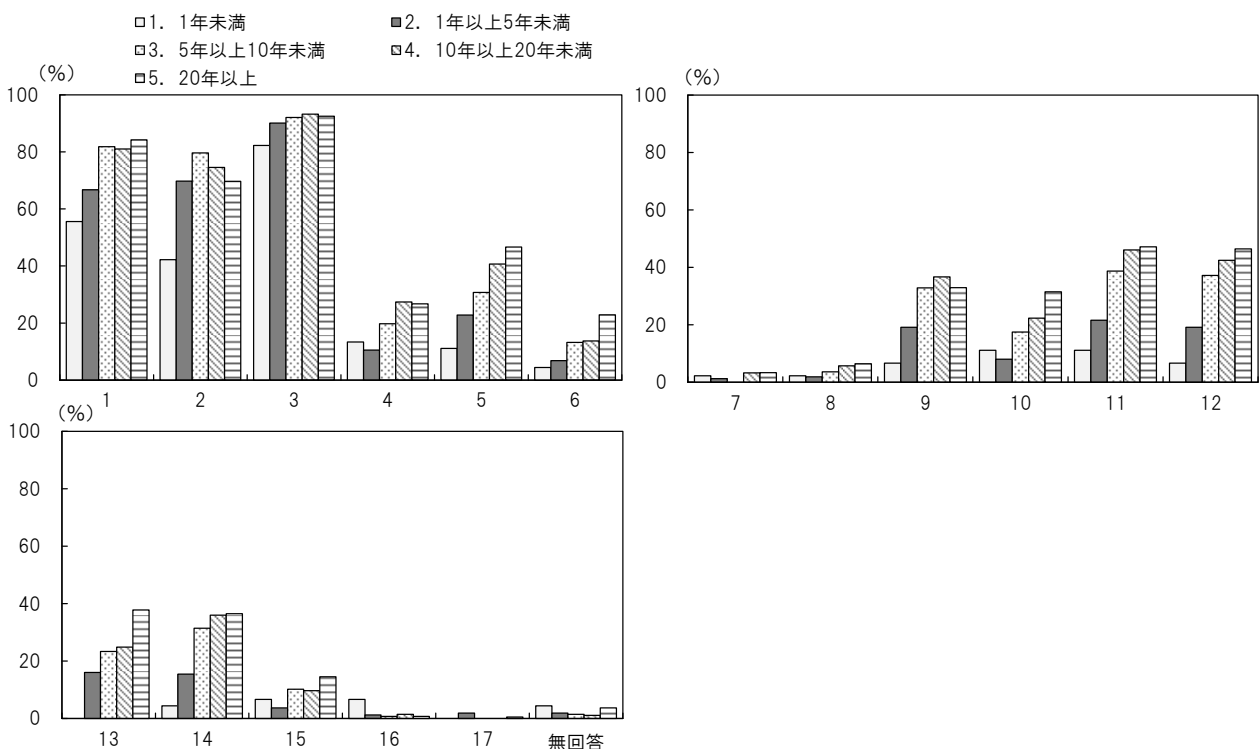
### 【年齢層による違い】

年齢層では、「3. ごみ・資源物の出し方カレンダーの発行」・「1. 広報紙「広報ふちゅう」等の紙媒体の情報ははじめ、全体として若年層の施策認知度は低くなっています。特に、「10. 再生可能な自転車の修理・販売」・「11. 生活用品活用事業（リサちゃんショップけやき）」・「5. 資源物回収事業（集団回収）の実施」では認知度の差が大きくなっています。



### 【居住年数による違い】

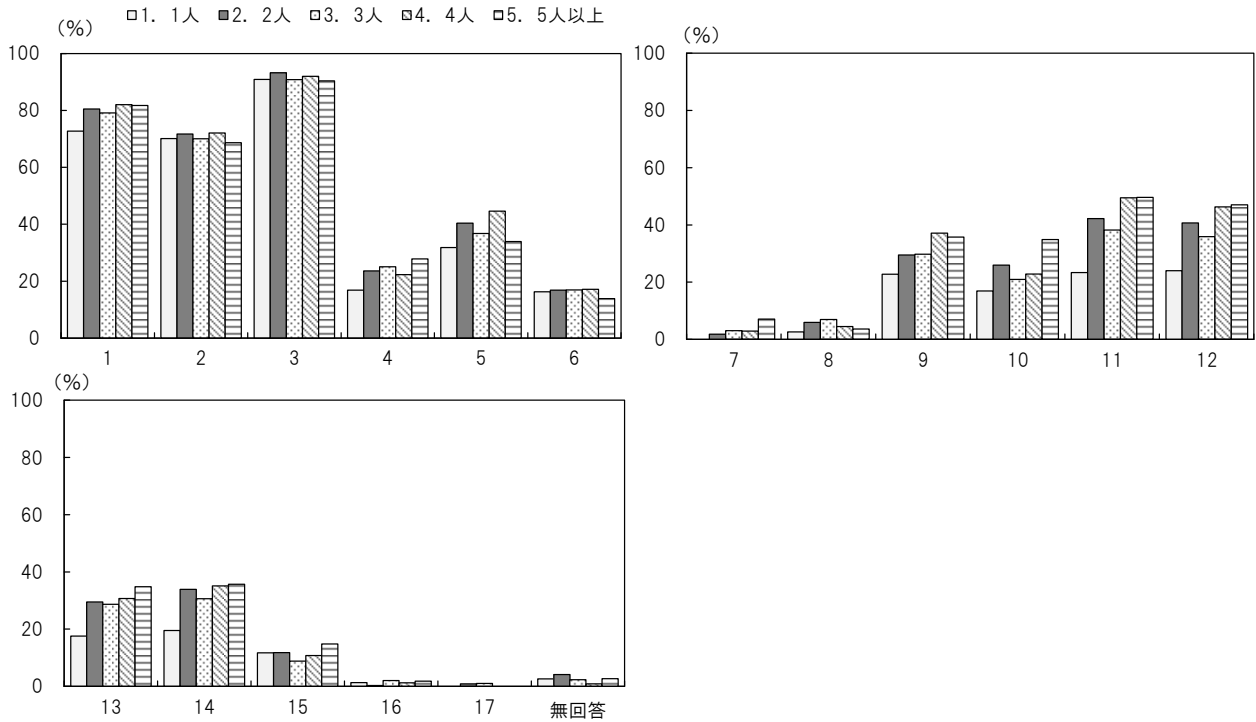
居住年数では、年数が長いほど認知度も高い傾向がみられ、「12. 再生可能な家具等の販売（リサちゃんショップけやき）」・「13. 再生家具即売会（府中市リサイクルプラザ）」のように5年未満と5年以上で差が大きな項目もあります。



## 属性別の集計

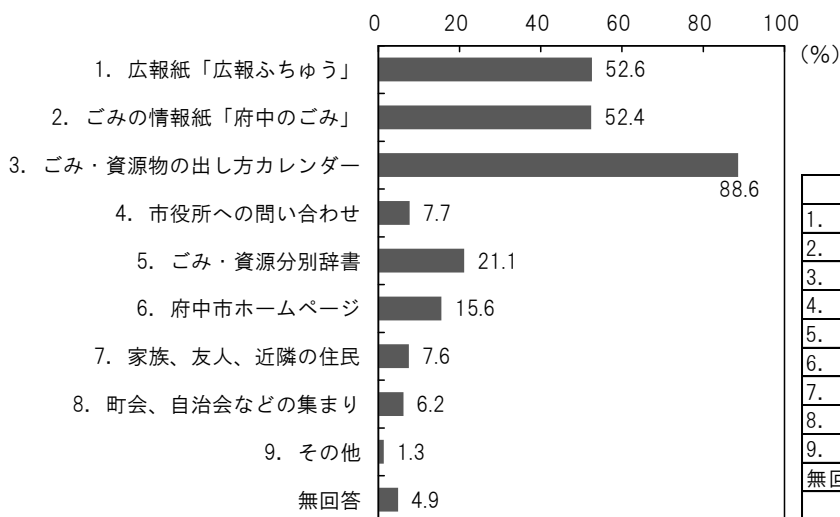
### 【世帯人数による違い】

世帯人数では、特に「11. 生活用品活用事業（リサちゃんショップけやき）」・「12. 再生可能な家具等の販売（リサちゃんショップけやき）」等について、1人世帯で認知度が低くなっています。



## 問 8 ごみの分別や3R などに関する情報をどのようにして入手していますか。 (〇はいくつでも)

「3. ごみ・資源物の出し方カレンダー」という回答が88.6%と最も多く、ついで「1. 広報紙「広報ふちゅう」」が52.6%、「2. ごみの情報誌「府中のごみ」」が52.4%となっています。紙による情報入手が多くなっています。

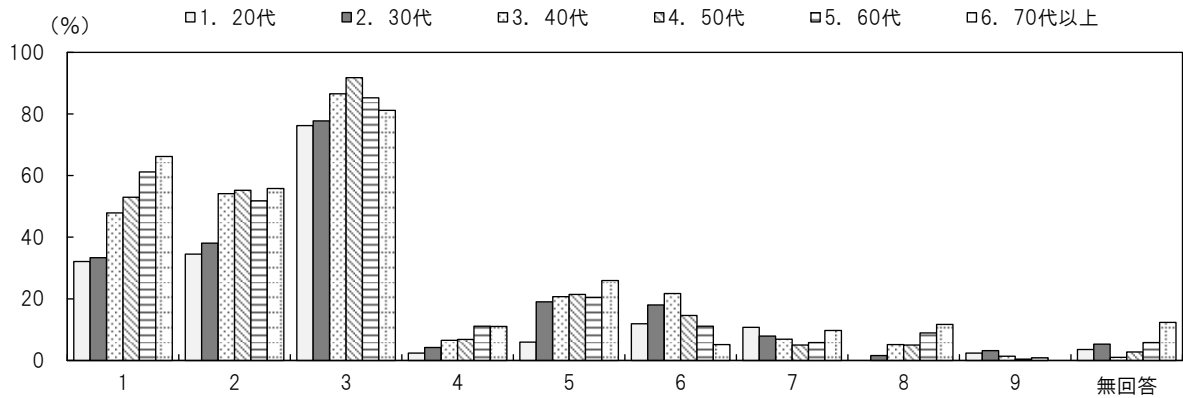


	回答数	%
1. 広報紙「広報ふちゅう」	585	52.6
2. ごみの情報誌「府中のごみ」	583	52.4
3. ごみ・資源物の出し方カレンダー	985	88.6
4. 市役所への問い合わせ	86	7.7
5. ごみ・資源分別辞書	235	21.1
6. 府中市ホームページ	173	15.6
7. 家族、友人、近隣の住民	84	7.6
8. 町会、自治会などの集まり	69	6.2
9. その他	15	1.3
無回答	54	4.9
合計	1,112	—

## 属性別の集計

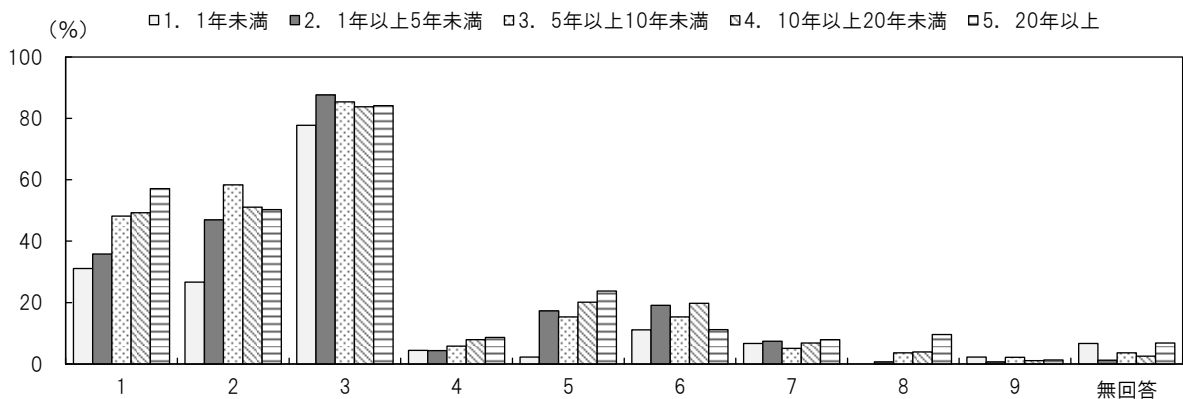
### 【年齢層による違い】

年齢層では、年代に関係なく紙による情報入手が多くなっています。



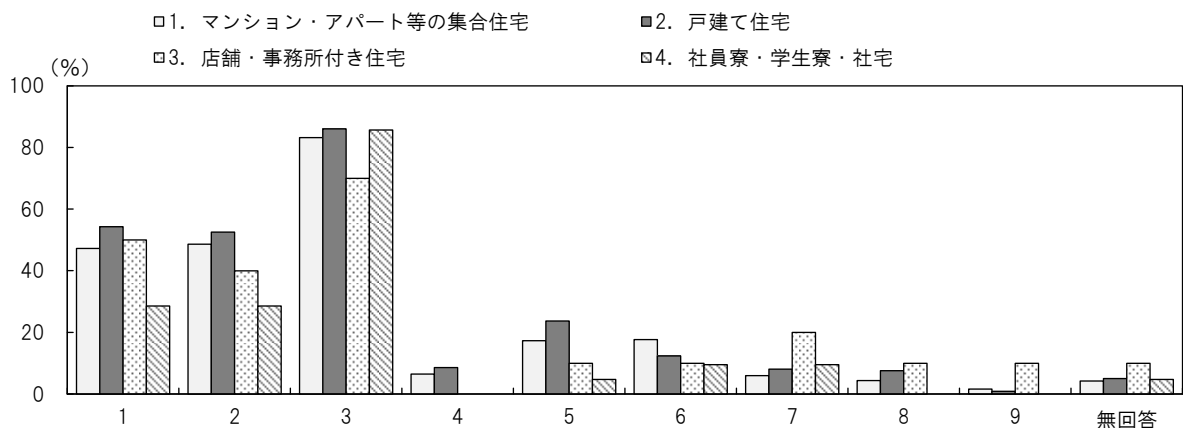
### 【居住年数による違い】

居住年数では、主要な情報入手方法である「1. 広報誌「広報ふちゅう」・「2. ごみの情報誌「府中のごみ」」・「3. ごみ・資源物の出し方カレンダー」において、1年未満がやや低くなっています。



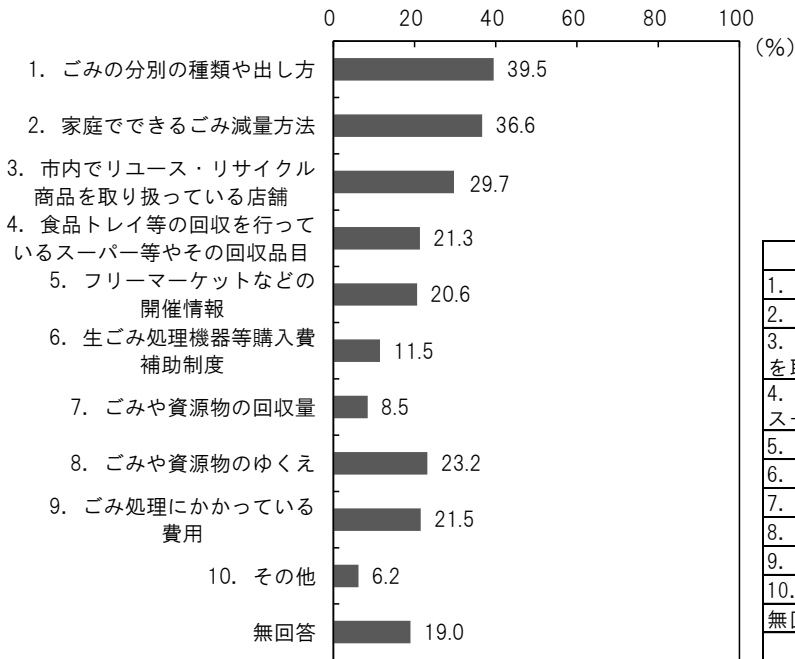
### 【居住形態による違い】

居住形態では、マンション・アパート等の集合住宅と戸建て住宅で大きな違いはみられません。社員寮・学生寮・社宅では、「3. ごみ・資源物の出し方カレンダー」の割合が高くなっています。



## 問9 ごみの分別や3Rなどに関する情報について、もっと知りたい情報はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「1. ごみの分別の種類や出し方」という回答が39.5%と最も多く、ついで「2. 家庭でできるごみ減量方法」が36.6%、「3. 市内でリユース・リサイクル商品を取り扱っている店舗」が29.7%となっています。その他としては、簡易包装や店頭回収を行っている店舗の情報等の意見がみられました。

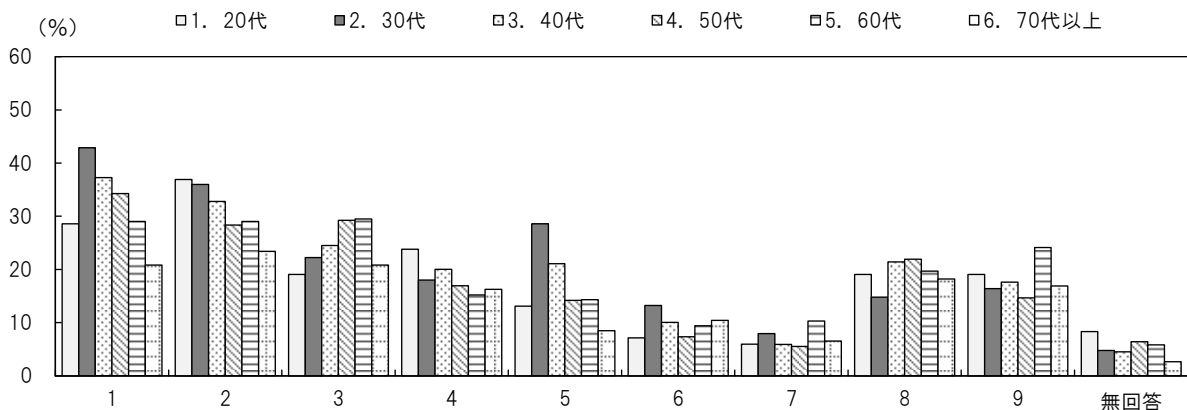


	回答数	%
1. ごみの分別の種類や出し方	387	39.5
2. 家庭でできるごみ減量方法	359	36.6
3. 市内でリユース・リサイクル商品を取り扱っている店舗	291	29.7
4. 食品トレイ等の回収を行っているスーパー等やその回収品目	209	21.3
5. フリーマーケットなどの開催情報	202	20.6
6. 生ごみ処理機器等購入費補助制度	113	11.5
7. ごみや資源物の回収量	83	8.5
8. ごみや資源物のゆくえ	227	23.2
9. ごみ処理にかかっている費用	211	21.5
10. その他	61	6.2
無回答	186	19.0
合計	980	—

### 属性別の集計

#### 【年齢層による違い】

年齢層では、「1. ごみの分別の種類や出し方」・「2. 家庭でできるごみ減量方法」は若年層で、「3. 市内でリユース・リサイクル商品を取り扱っている店舗」は50代~60代でやや多くなっています。30代では「5. フリーマーケットなどの開催情報」が他の年代より高くなっています。

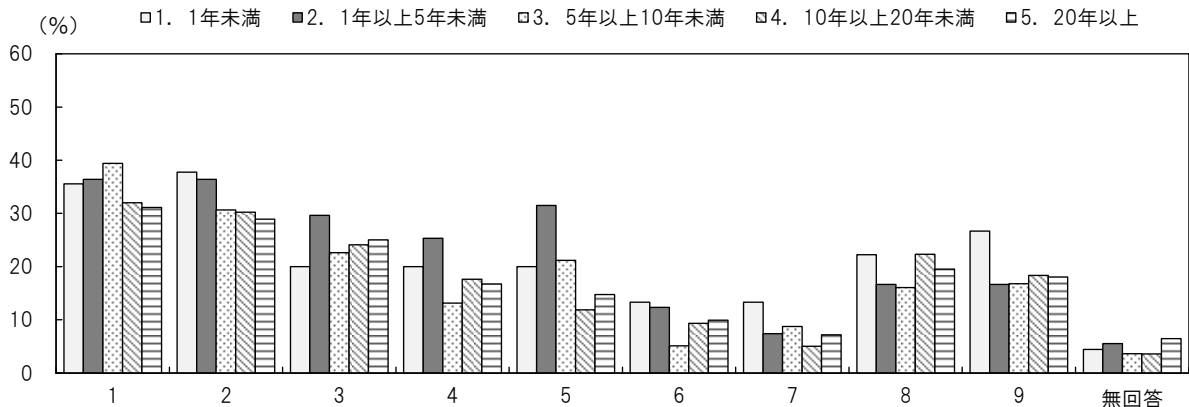




## 属性別の集計

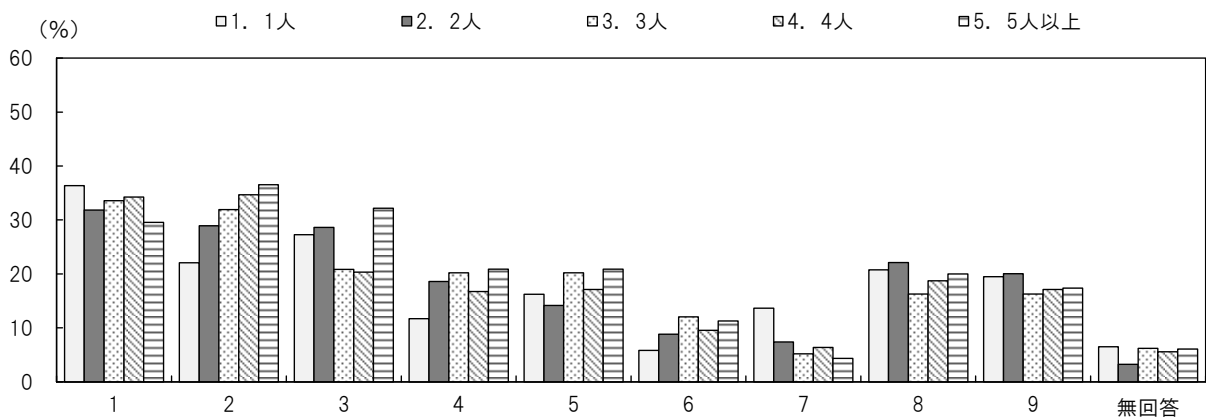
### 【居住年数による違い】

居住年数では、「1. ごみの分別の種類や出し方」は10年未満、「2. 家庭でできるごみ減量方法」は5年未満の回答者が高くなっています。「5. フリーマーケットなどの開催情報」は1年以上5年未満、「8. ごみや資源物のゆくえ」・「9. ごみ処理にかかっている費用」では1年未満の回答者が高くなっています。



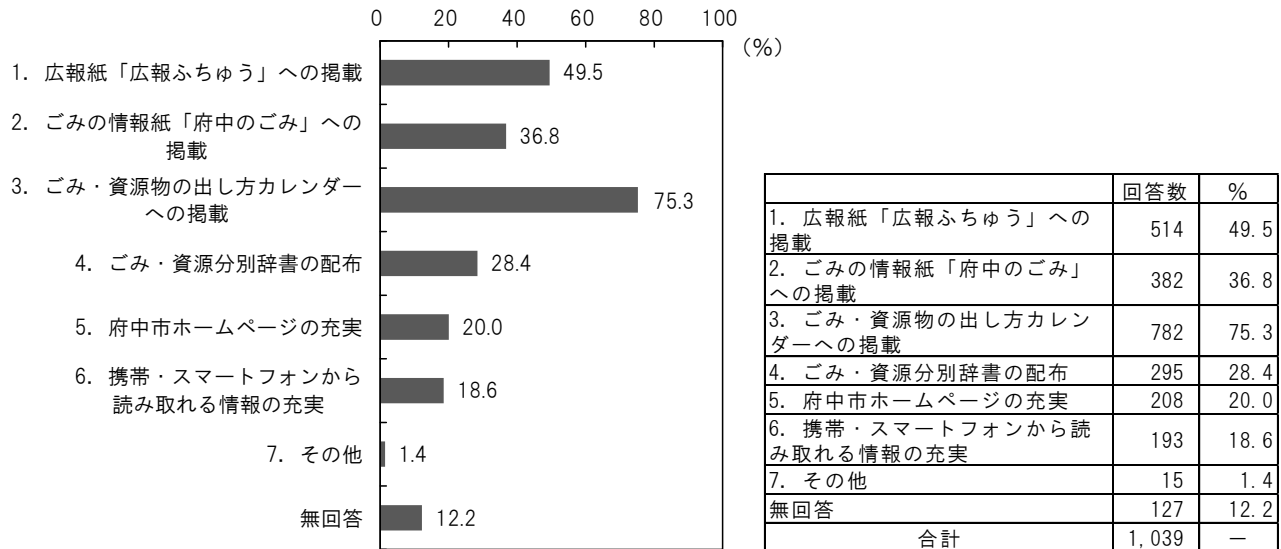
### 【世帯人数による違い】

世帯人数では、「2. 家庭でできるごみ減量方法」で世帯人数が多くなると割合も高くなっています。「1. ごみの分別の種類や出し方」では1人世帯が、「3. 市内でリユース・リサイクル商品を取り扱っている店舗」では5人以上の世帯と2人世帯で高くなっています。



問 10 今後、ごみの分別や3R などに関する情報を受け取る手段として、希望するものはありますか。(〇はいくつでも)

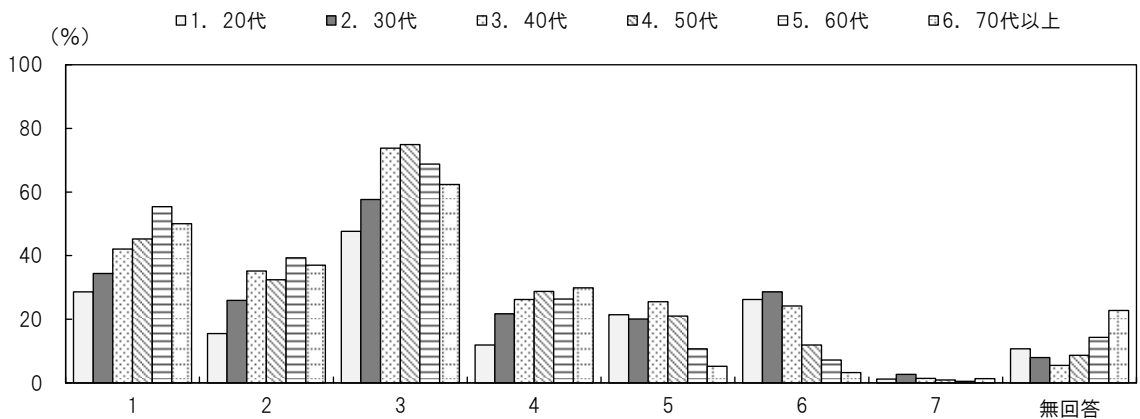
「3. ごみ・資源物の出し方カレンダーへの掲載」という回答が75.3%と最も多く、ついで「1. 広報紙「広報ふちゅう」への掲載」が49.5%、「2. ごみの情報紙「府中のごみ」への掲載」が36.8%となっています。



属性別の集計

【年齢層による違い】

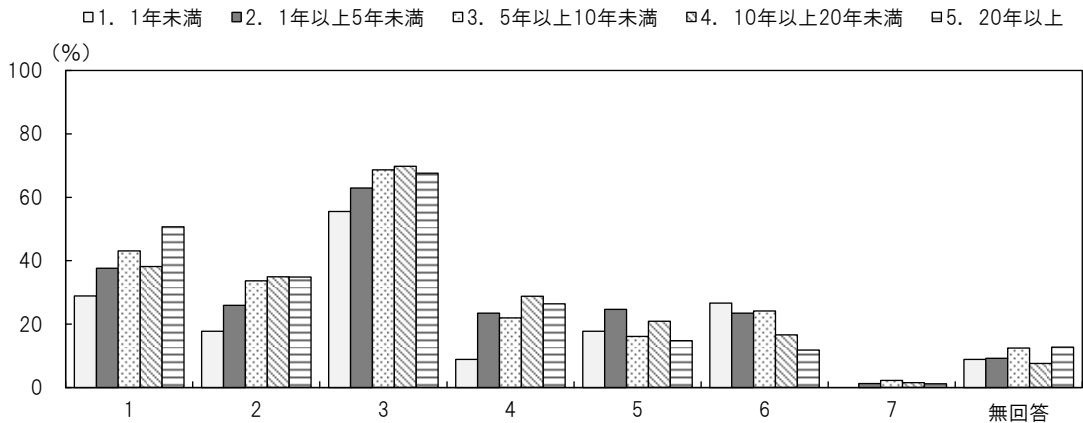
年齢層では、各年代「3. ごみ・資源物の出し方カレンダーへの掲載」が最も高く、「6. 携帯・スマートフォンから読み取れる情報の充実」は20代、30代の若年層で高くなっています。「1. 広報紙「広報ふちゅう」への掲載」・「2. ごみの情報紙「府中のごみ」への掲載」は年齢層が上がると高くなる傾向がみられます。



## 属性別の集計

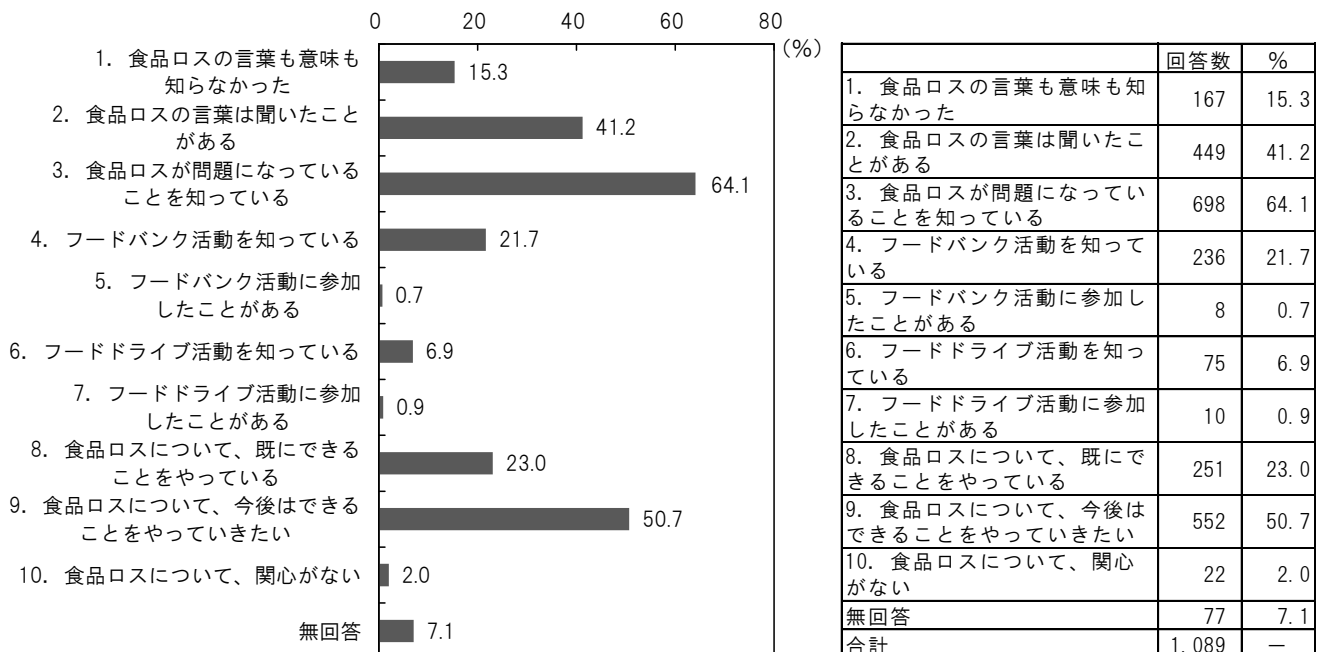
### 【居住年数による違い】

居住年数では、「1. 広報紙「広報ふちゅう」への掲載」・「2. ごみの情報紙「府中のごみ」への掲載」・「3. ごみ・資源物の出し方カレンダーへの掲載」等、紙による情報入手は年数が長くなるほど高くなる傾向がみられます。一方、「5. 府中市ホームページの充実」・「6. 携帯・スマートフォンから読み取れる情報の充実」は5年未満の回答者が高くなっています。



## 問 11 上で紹介した食品ロスについて、該当するものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

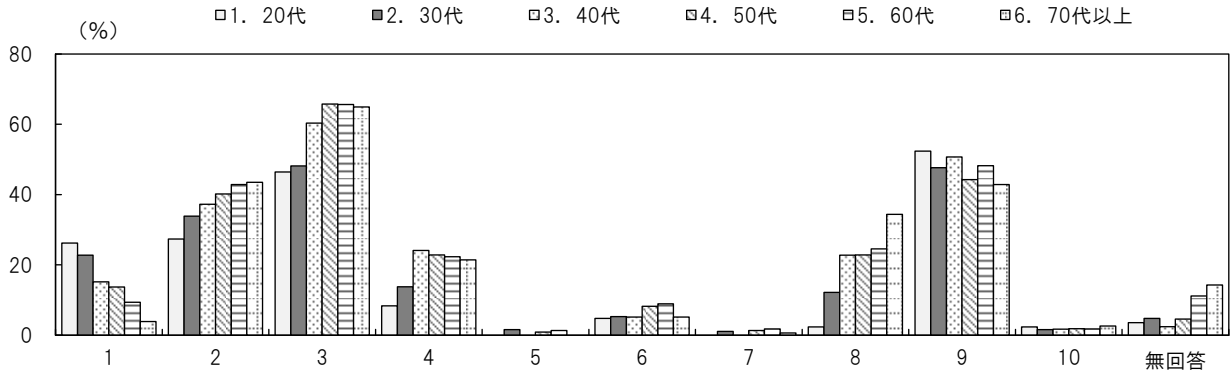
「3. 食品ロスが問題になっていることを知っている」という回答が64.1%と最も多く、ついで「9. 食品ロスについて今後はできることをやっていきたい」が50.7%となっています。「1. 食品ロスの言葉も意味も知らなかった」という回答は15.3%にとどまり、言葉が浸透していると考えられます。「8. 食品ロスについて、既にできることをやっている」は23.0%ですが、フードバンク活動やフードドライブ活動への参加は、それぞれ1.0%未満となっています。



## 属性別の集計

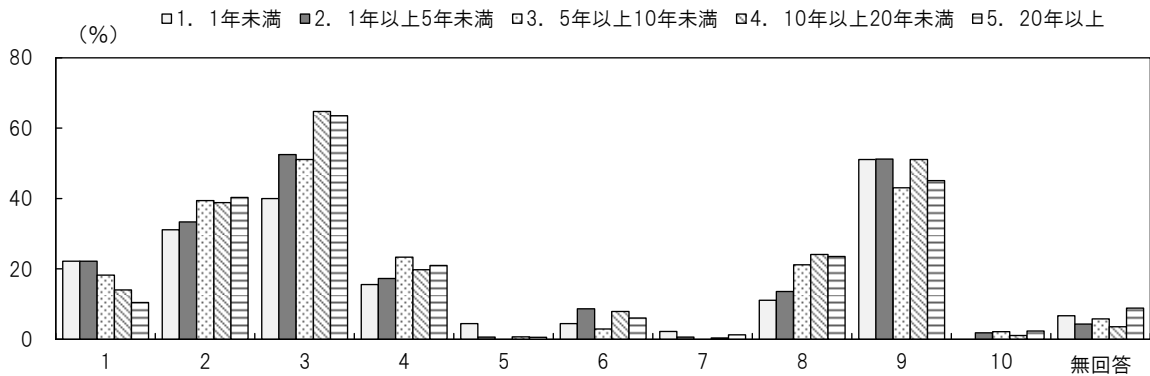
### 【年齢層による違い】

年齢層では、「1. 食品ロスの言葉も意味も知らなかった」という回答が若年層ほど高く、「2. 食品ロスの言葉は聞いたことがある」・「3. 食品ロスが問題になっていることを知っている」は年齢層が上がるほど高くなる傾向がみられます。「8. 食品ロスについて、既にできることをやっている」では40代以上が高く、「9. 食品ロスについて今後はできることをやっていきたい」では各年齢層とも高い割合を示しています。



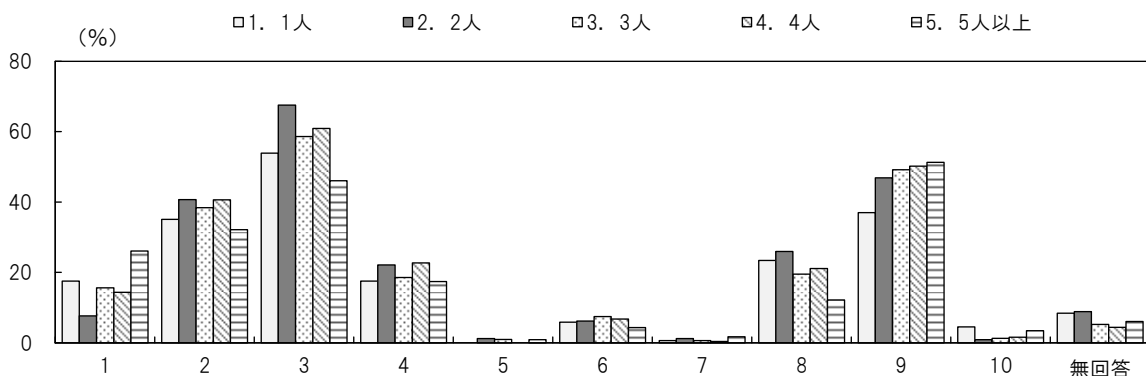
### 【居住年数による違い】

居住年数では、「1. 食品ロスの言葉も意味も知らなかった」という回答は5年未満で高く、「3. 食品ロスが問題になっていることを知っている」は年数が長くなるほど高い傾向がみられます。「8. 食品ロスについて、既にできることをやっている」では5年以上で高くなっていますが、「9. 食品ロスについて今後はできることをやっていきたい」では居住年数での大きな差はみられません。



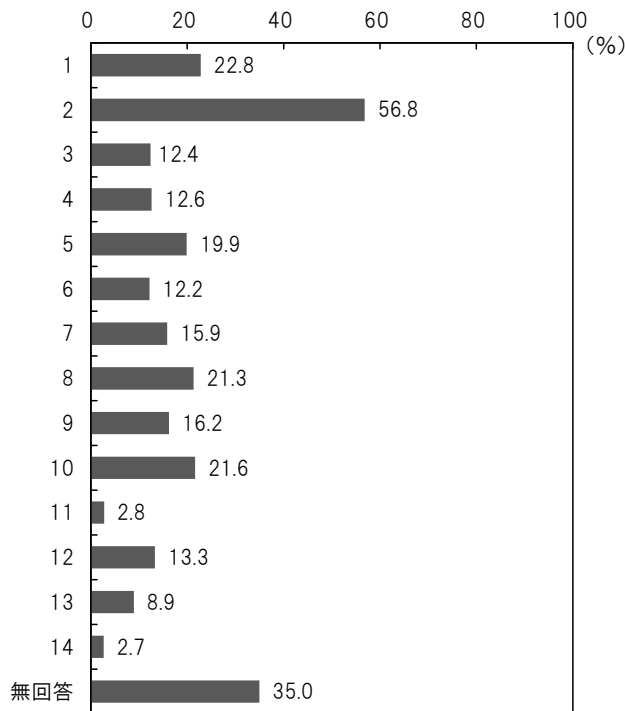
### 【世帯人数による違い】

世帯人数では、「3. 食品ロスが問題になっていることを知っている」は5人以上で低くなっています。「8. 食品ロスについて、既にできることをやっている」では2人以下でやや高くなっていますが、「9. 食品ロスについて今後はできることをやっていきたい」では人数が多いほど高くなっています。



問 12 さらにごみの分別や3Rを進めていくためにはどのような行政の施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「2. 分別がわかりにくいものを広報などで定期的に取り上げる」という回答が56.8%と最も多く、ついで「1. ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する」が22.8%、「10. ワンルームマンション等への分別の周知を徹底する」が21.6%、「8. スーパーなどで、簡易包装や量り売り、店頭回収に取り組む店舗の情報を提供する」が21.3%となっています。



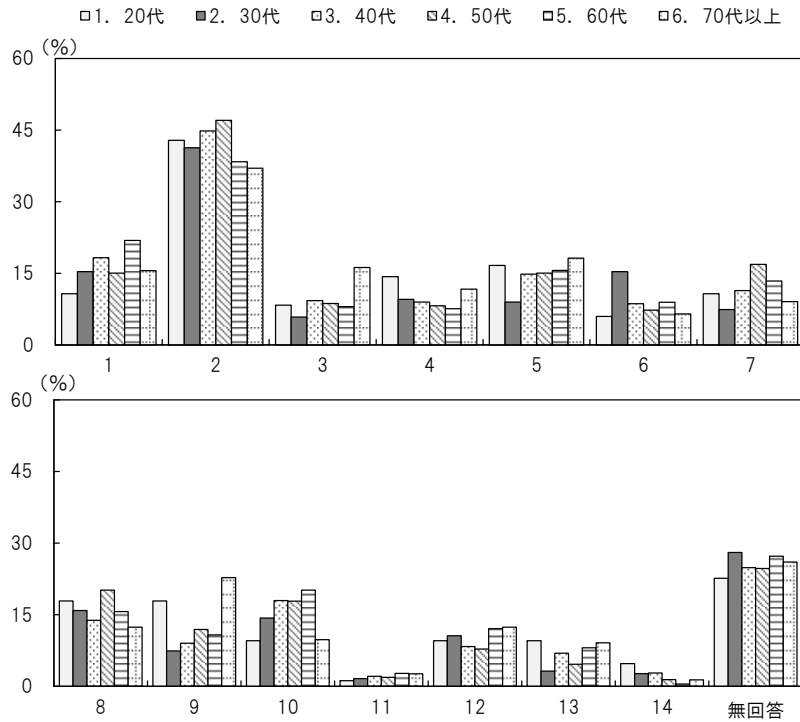
	回答数	%
1	197	22.8
2	491	56.8
3	107	12.4
4	109	12.6
5	172	19.9
6	105	12.2
7	137	15.9
8	184	21.3
9	140	16.2
10	187	21.6
11	24	2.8
12	115	13.3
13	77	8.9
14	23	2.7
無回答	302	35.0
合計	864	—

1. ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する
2. 分別がわかりにくいものを広報などで定期的に取り上げる
3. 生ごみの水切りをより広く周知する
4. 家庭で生ごみを処理できる生ごみ処理機をより広く周知し、利用者を拡大する
5. 食べ残しなどの食品の無駄をなくすよう広く周知する
6. フリーマーケットなどの不用品交換イベントを推進する
7. リユースショップの情報や不用品を売買できるような情報を提供する
8. スーパーなどで、簡易包装や量り売り、店頭回収に取り組む店舗の情報を提供する
9. マイバッグ、マイボトル、マイ箸などの使用を推進する
10. ワンルームマンション等への分別の周知を徹底する
11. ごみの分別や3Rについて地域での勉強会を開き、家庭での取組みを推進する
12. ごみの分別や3Rの必要性について、子どもたちへの環境教育を推進する
13. 自治会やマンションなど、地域における自主的な取組みを広める
14. その他

## 属性別の集計

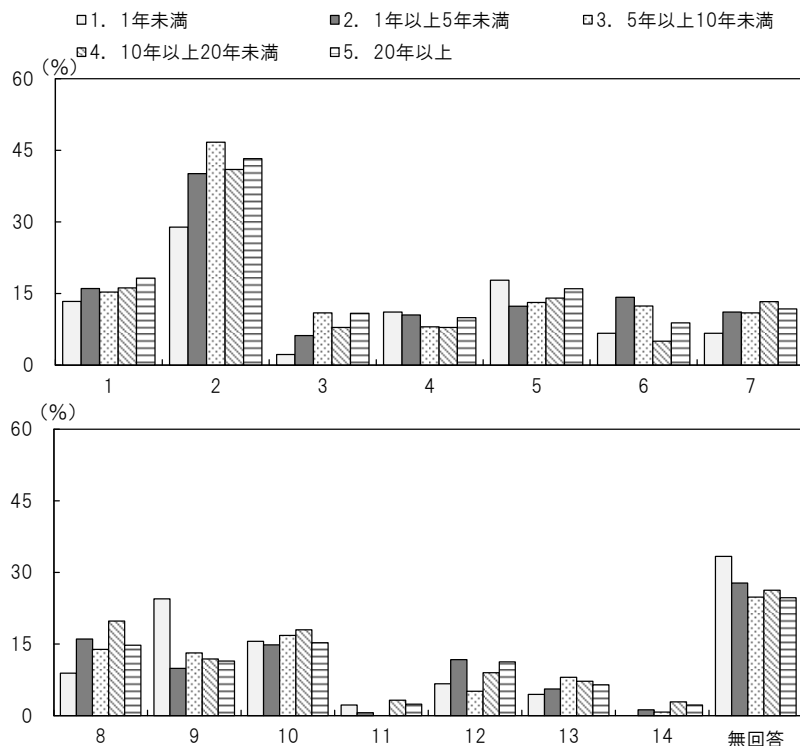
### 【年齢層による違い】

年齢層では、「2. 分別がわかりにくいものを広報などで定期的に取り上げる」は50代以下で高くなっています。「6. フリーマーケットなどの不用品交換イベントを推進する」は30代で高くなっています。



### 【居住年数による違い】

居住年数では、ほとんどの項目で年数が長いほど高くなる傾向がみられますが、「5. 食べ残しなどの食品の無駄をなくすよう広く周知する」・「9. マイバッグ、マイボトル、マイ箸などの使用を推進する」は1年未満で高くなっています。



### 問 13 府中市のごみの分別や3Rなどに関してご意見がございましたら、ご記入ください。

意見の中で最も多かったのは、「分別について」（129件）で、ついで「収集（回数・種類等）」（76件）、「情報の周知」（63件）となっています。

「分別について」の中で多く挙げられた意見として、「燃やさないごみと容器包装プラスチックの判断が難しい」、「洗にくいものはどこまできれいにすればよいのか」、「分別が細かい（難しい）」、「アパート、賃貸マンション等の集合住宅における分別や3Rについて取組みが低いのではないか」等があります。収集（回数・種類等）については、「容器包装プラスチックの回収を増やしてほしい」、「資源物の対象品目、回収日（びん、かん、ペットボトル）を増やしてほしい」といった意見が多く、「情報の周知」については、「問い合わせのあったものや収集で困っているものについて広報などで知らせてほしい」、「分別辞典に掲載されていない品目がある」等の意見があります。「ごみ袋、料金」については、「破れやすい/より小さなサイズがほしい/少量販売してほしい/料金が高い」という意見が多く挙がっています。

